



愛知県立大学
Aichi Prefectural University



年報

第18号
令和6[2024]年度

愛知県立大学

地域連携センター

Regional Liaison Center

地域連携センター年報第 18 号（2024 年度）の刊行にあたって

2024 年度も学内外の様々な皆様のご協力により、年報に記載した取組を多数実施することができましたことに、感謝申し上げます。本地域連携センターの事業には、愛知県および県内自治体等との連携事業・高大連携事業・ボランティア活動の窓口業務、公開講座・リカレント研修講座等があります。

愛知県との連携の一つとしましては、愛知県総務局との共催事業「愛知県地域づくり活動フォーラム」を本学で開催し、学生自主企画研究（地域課題研究枠）の研究成果を発表させていただき、地域づくりに関わる方々と学生たちが交流する機会を持つことができました。また、愛知県防災安全局との共催セミナーや、愛知県生涯学習推進センター、愛知教育大学とも連携した公開講座事業を実施することができました。今後は公開講座等を一大学で実施するだけでなく、関係機関と連携して共同で開催することによって、より効果的に行うことを検討し進めていきたいと思います。

県内の自治体との関係では、尾張旭市教育委員会と教育分野における包括的な協定を締結することができました。これは、小学校教員養成課程を設置する教育福祉学部教育発達学科を中心として申請した文部科学省の「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」が採択されたことを契機に、これまでのボランティア学生の派遣に関する限定的な協定から、より包括的な協定へと発展させたものとなります。

また、今年度の連携の特徴としては、高校からの訪問・意見交換や協力事業が増えてきたことが挙げられます。県立高校の改編・中高一貫校の設置や探究的学習の推進の流れの中で、大学との連携が求められていることを感じます。高校等から期待されることは有難く受け止め、可能な連携を検討し進めていきたいと考えております。本学では地域連携センターを高大連携の窓口とし、本学教員を対象に高大連携に関するアンケート調査も実施し、その結果をもとに、愛知県教育委員会や関連の高校と意見交換会を実施しました。

その他、地域の課題を当事者から窺い、その課題解決に向けて学内でシェアすることを目的として、2022 年度から MAPU（Make a Problem-solving Unit, Meeting on a Problem-solving Unit）と称するイベントを実施しております。今年度は愛知県観光協会と MAPU を 1 回実施しました。そして MAPU とは逆に、本学の教員が高校のユニークな授業に関心をもち、連絡をとることで、RmAPU（Reverse MAPU）にも取り掛かることができました。学生による地域でのボランティア活動の件数も増えており、今後の地域とのつながりのさらなる発展が期待されます。

公開講座については、学術講演会、愛県大アカデミックデイ、連続公開講座「県大アゲイン」、教員企画による公開講座、地域貢献活動が行われました。2024 年から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は「5 類感染症」に移行し、従来の生活が戻ってまいりましたが、公開講座については、オンラインでのライブやオンデマンドを効果的に活用しながら実施しております。専門職対象のリカレント研修講座も、重要な事業となってまいりました。昨年度、文部科学省の「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択された『医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修』事業は、今年度は地域連携センター管轄の事業として継続して実施し、おかげさまで財政的にも自立した運営が可能となりました。

本年度は、第 3 期中期計画の最終年度であり、第 4 期中期計画を作成する年でした。皆様のご協力により、計画された活動は無事実施することができ、次期の目標も設定することができました。第 4 期では、地域との連携、高大連携、リカレント研修等にいっそう力を入れていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和 7 年／2025 年 3 月末日

愛知県立大学地域連携センター長 山本理絵

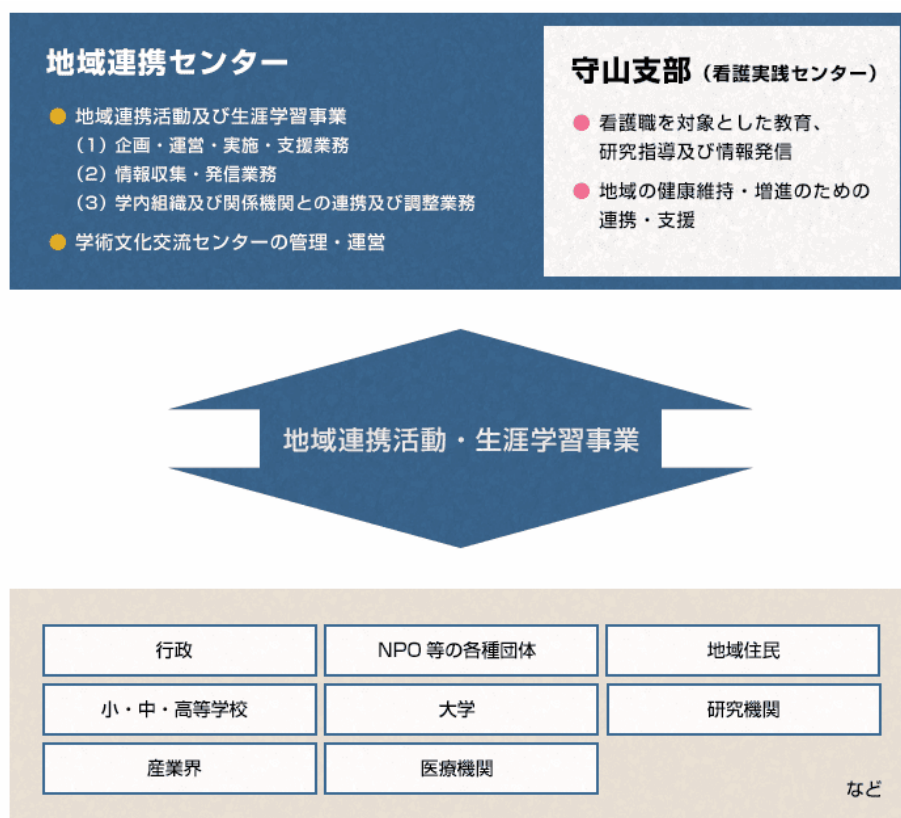
報 告 書 目 次

1	地域連携センターの概要	1
2	地域連携センターの活動実績一覧	2
3	自治体等との連携	
	(1) 愛知県	5
	(2) 長久手市	12
	(3) 高大連携	13
	(4) その他	14
	(5) 連携協定	15
4	公開講座等	
	(1) 学術講演会	16
	(2) 愛県大アカデミックデイ	17
	(3) 連続公開講座「県大アゲイン」	18
	(4) 公開講座	19
	(5) 地域貢献活動	40
	(6) リカレント研修講座	41
5	地域連携センター守山支部の活動状況	42
6	教員等による地域貢献	68
7	資料	70

1. 地域連携センターの概要

地域連携センターの概要

地域連携センターは、愛知県や他の自治体、産業界、大学・研究機関、地域社会等と連携して、本学の研究成果を社会に還元し、地域の課題解決や活力創出に貢献するため、①対外的な窓口、②情報の集積・発信、③事業の立案・実施、④コーディネート及びサポートという機能を果たしています。



○窓口としての機能

＜教員や学生団体へのコーディネート＞

自治体からの委員や講師依頼、連携事業の要望に対して、当センターが窓口となり、本学教員や学生団体へのコーディネートやサポートを行っています。

○情報の集積・発信

＜地域連携に関する情報の一元化＞

地域連携に関する情報の一元化を図るため、年間の活動を掲載したイベントカレンダーや「愛知県立大学地域連携センターリーフレット」、「地域連携センター年報」等の作成や配布及び当センターウェブサイトでの情報発信を行い、本学の地域連携に関する情報の集約や発信を行っています。

2. 地域連携センターの活動実績一覧

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
4月	6日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	9日	第1回センター運営会議	
	19日	愛・地球博記念公園と愛知県立大学との 包括連携協定に関するフォローアップ会議	
	19日	認知症カフェスタッフミーティング	
5月	4日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	8日	あいちSTEAM教育推進事業「知の探究講座」第1回推進会議	
	9日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	11日		公開講座「〈地域連携事業(公開講座)×コミュニティ通訳実習〉高齢化する外国人住民：日本の年金制度と介護保険制度」
	14日	第2回センター運営会議	
	16日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	17日	認知症カフェスタッフミーティング	
	23日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	24日		看護研究スキルアップ基礎講座①「看護研究の基礎的知識」「看護研究における倫理と手続き」「看護研究における文献検索」
	30日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
6月	1日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	2日		連続公開講座「県大アゲイン」第1回
	3日～10日	第3回センター運営会議（メール会議）	
	6日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	8日		公開講座「災害と伝承」
	13日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	14日		看護研究スキルアップ基礎講座③「量的研究入門」
	14日		看護研究スキルアップ基礎講座②「質的研究入門」
	16日		連続公開講座「県大アゲイン」第2回
	20日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	21日	認知症カフェスタッフミーティング	
	24日	令和6(2024)年度第1回長久手市大学連携調整会議	
	27日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	28日		公開講座「スマートフォンやパソコンなんて こわくない！ 健康のために高齢期の今こそ活用しよう」
7月	4日		連続公開講座「県大アゲイン」第3回
	4日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	5日～11日	第4回センター運営会議（メール会議）	
	6日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	10日		公開講座「飯山由貴《In-Mates》上映会 + 対談 現代アートが描く人権、精神障がい、レイシズムの現在」
	11日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	17日		愛知県共催講演会「性暴力被害防止セミナー」
	19日	認知症カフェスタッフミーティング	
	20日		あいちSTEAM教育推進事業「知の探究講座」開講式
	24日		公開講座「和装本講座」

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
8月	1日		リカレント研修(コースA)オンデマンド講座開講(～2025年2月28日)
	3日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	3日		公開講座「未来を拓く共創活動 ～次なる“空飛ぶクルマ”を生み出す人をどう育むか」
	10日		公開講座「オンライン・メディアの感動ニュースから英語と異文化を学ぼう」
	16日～26日		令和6年度あいちSTEAM教育推進事業「知の探究講座」人のところを知る(第1期)
	16日	認知症カフェスタッフミーティング	
	20日		看護研究実践講座「日々の疑問を研究計画へ(初級実践編):看護研究に初めて取り組む方のための演習」
	30日		リカレント研修対面講座(コースA)
9月	31日		看護実践センターセミナー「医療メディエーションの理論と技法 コンフリクト・マネジメントをもとに」
	7日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	7日		公開講座「異文化終活セミナー(その5)」
	10日	第5回センター運営会議	
	11日		認知症サポーター養成講座
	20日	認知症カフェスタッフミーティング	
10月	29日		認定看護師・専門看護師対象セミナー「患者の尊厳と安全を守るケアの実践:～理論に基づく病院における身体拘束低減化の取り組み～」
	1日		リカレント研修(コースB)オンデマンド講座開講(～2025年2月28日)
	2日		公開講座「日本におけるコミュニティ通訳」
	5日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	10日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	11日	第6回センター運営会議	
	12日		看護実践センターセミナー「急変時の対応:ここをみる!そして、こうする」(ラダーⅠ、Ⅱ対象)
	13日		公開講座「文化財レスキュー活動の啓蒙・普及 大学が取り組むべき課題」
	17日		公開講座「発達障がいフォーラム」
	17日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	18日	認知症カフェスタッフミーティング	
	19日		令和6年度あいちSTEAM教育推進事業「知の探究講座」人のところを知る(第2期)
	23日		公開講座「激変する世界を地域から考える」
	27日		リカレント研修対面講座(コースA、コースB)
11月	28日		MAPU①(愛知県観光協会)
	2日		令和6年度あいちSTEAM教育推進事業「知の探究講座」人のところを知る(第3期)
	2日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	2日		看護実践センターセミナー「看護を取り巻く制度の動向を理解し、看護現場に活かす」
	7日	第7回センター運営会議	
	7日	名古屋大学連携懇談会	
	9日		公開講座「東アジアの版本を問う」
	14日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	15日	認知症カフェスタッフミーティング	
	16日		公開講座「第1回愛知県立大学世界史セミナー」
	17日		公開講座「「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体…キュレーターを招く 暮らしから建築を見る～自然、都市、社会～」
	17日		リカレント研修対面講座(コースA)
	21日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	22日		学術講演会「紫式部は何を伝えたかったのか?—昭和13年『小學国語読本 卷十一』の『源氏物語』を手がかりに—」
	24日		フォローアップ交流会(愛知県生涯学習推進センター、愛知教育大学)
	28日		リカレント研修対面講座(コースB)
	29日		あいちシルバーカレッジ専門コース①

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
12月	4日		尾張旭市と教育分野における連携協力に関する協定書締結
	4日		認知症セミナー
	6日		公開講座「インドネシア現地政治経済事情講演会 ブラボウォ政権をどう見るか—ジョコウィ政権からの継承と刷新—」
	7日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	10日	第8回センター運営会議	
	13日		WWL第2回運営指導委員会
	14日		看護実践センターセミナー「チームで進めるACP」
	17日	第1回医療・教育福祉リカレント教育推進事業実施委員会	
	18日		【スペイン語・ポルトガル語圏専攻公開講座】「サンパウロ市におけるジェンダーの不等とインターセクショナルリティー都市、環境と社会問題—」
	19日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	20日		あいちシルバーカレッジ専門コース②
	20日	認知症カフェスタッフミーティング	
	21日		リカレント研修対面講座(コースB)
	22日		リカレント研修対面講座(コースA)
1月	10日	第9回センター運営会議	
	11日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	12日		「知の探究講座」全体発表会
	16日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	28日	あいちSTEAM教育推進事業「知の探究講座」第2回推進会議	
	28～31日		公開講座「もっと知りたいインドネシア語講座(初～中級)」
	31日	令和6年度第2回長久手市大学連携調整会議	
2月	1日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	1日		認定看護管理者・看護管理者・看護職者対象セミナー「トップマネージャーが切り開く病院経営」
	7日		保育園児向け次世代ロボット研究所見学会
	7日	第10回センター運営会議	
	12日	第2回医療・教育福祉リカレント教育推進事業実施委員会	
	14日		公開講座「第7回国際セミナー 2025年、世界の展望」
	18日		令和6年度 愛知県地域づくり活動フォーラム
	20日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	21日	認知症カフェスタッフミーティング	
	22日		公開講座「第2回愛知県立大学世界史セミナー」
3月	1日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	3日～9日		愛県大アカデミックデイDay2 2024
	11日	第11回センター運営会議	
	14日		学生大防災会議2025
	21日	認知症カフェスタッフミーティング	
	31日～4月3日	第12回センター運営会議(メール会議)	

3. 自治体等との連携

(1) 愛知県

「あいち認知症パートナー大学」

平成 29(2017)年に愛知県が策定した「あいちオレンジタウン構想第 1 期アクションプラン」に基づき、愛知県とともに認知症に理解の深いまちづくりに「じぶんごと」として取り組む大学として、平成 30(2018)年に「あいち認知症パートナー宣言」をし「あいち認知症パートナー大学」として登録されました。

昨年度に引き続き、認知症の方々やご家族をどのように支援できるのか、学生や行政、地域の方々と共に考え取組みを行いました。

○認知症カフェ「喫茶オレンジ」

- ・平成 30(2018)年度から長久手市社会福祉協議会による長久手の認知症カフェ「喫茶オレンジ」の運営に協力しています。毎月の認知症カフェ開催前に運営会議を開催し、教員・職員が参加して長久手市および長久手市社会福祉協議会と意見交換を重ねながら、カフェの中のプログラムの充実や利用者を増やす取り組みなどを検討しました。
- ・認知症カフェを月 1 回（計 12 回）開催し、本学の学生（県大生）もボランティアとして対面で参加をしました。学生は延べ 59 名が参加し、認知症当事者を含む市民の方々との交流を楽しみ、一緒に体操をするなどして場を盛り上げました。また、愛知県立大学弦楽部の学生がボランティアとして演奏を披露し、心が落ち着く時間を提供しました。
- ・学生が広報スタッフとして活動し、地域のお祭りでの認知症啓発ブース出展への協力や、認知症に関する冊子の作成協力など、長久手市の認知症普及啓発活動に協力しています。



【認知症カフェ「喫茶オレンジ」の様子】

○オレンジ本棚

令和元(2019)年度から学術研究情報センター長久手キャンパス図書館内に「オレンジ本棚」（認知症関連図書コーナー）を設置しています。新しい書籍や視聴覚資料を随時本棚に展示し、認知症を学生にも「じぶんごと」として理解してもらえよう、啓発をしています。

「認知症サポーター養成講座」

1. 運営種別：共催（長久手市、社会福祉法人長久手市社会福祉協議会、愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：2024年9月11日（水）13：30～15：00
3. 会 場：オンライン
4. 講 師：柳澤 聖依 氏（長久手市認知症地域支援推進員）
5. 参加者数：15名（学生4名、教員3名、職員4名、長久手市社会福祉協議会職員4名）

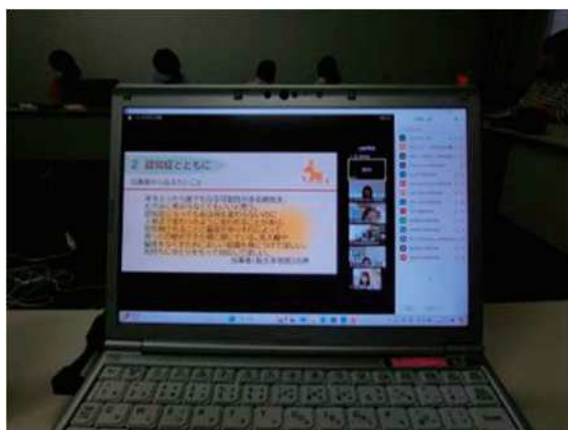
【概 要】

認知症を正しく理解し、自分のできる範囲でサポーターとして活動する「認知症サポーター」を養成する講座を開催した。最初から最後まで受講した参加者には普段から認知症サポーターの意識を持ち、周囲にも波及させることを目的とする「オレンジリング」を後日進呈した。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



「認知症セミナー 知る 気づく 認知症について知ろう！
～すべての人が希望をもって暮らす共生社会のために～」

1. 運営種別：共催（長久手市、愛知県立大学地域連携センター）
後援（愛知県）
2. 開催日時：令和 6（2024）年 12 月 4 日（水） 14：30～16：00
3. 会 場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール／オンライン
4. 講 師：柳澤 聖依 氏（長久手市認知症地域支援推進員）
岸上 芳晴 氏（愛知県福祉局児童家庭課ヤングケアラーコーディネーター）
5. 参加者数：82 名（会場 35 名、オンライン 47 名）

【概 要】

第一部は、柳澤氏より家族や周囲の本人との接し方や相談先等、認知症のイメージに対する正しい知識を解説した。
第二部は、岸上氏よりヤングケアラーの現状と課題について解説があった。

【チラシ】

知る 気づく 認知症について知ろう！
～すべての人が希望をもって暮らす共生社会のために～

「親や身近な人、また自分自身が認知症になったら…」
そんなことを思ったことはありませんか？
このセミナーは認知症について知り、家族や周囲は本人とどう接したらいいの？ どこに相談したらいいの？ などを知ります。
また、家族の介護負担を減らしているヤングケアラーも紹介しています。
このセミナーで、認知症のこと、ヤングケアラーのことを学びませんか。

日時：令和 6年12月 4日(水)
14時30分～16時00分(開場:14時) 詳細は裏面をご覧ください

場所：愛知県立大学 長久手キャンパス
学術文化交流センター地下1階
多目的ホール／オンライン
【アクセス】東名高速線(りーこ) 1分
【バス】長久手駅西口徒歩1分(徒歩5分)

定員：会場参加 120名
オンライン参加 500名

参加お申込み方法 受付締切:12月 1日(日)

●愛知県立大学地域連携センターWebサイト
<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/> もしくは、右の二次元コードに
アクセスいただき、「認知症について知ろう！～すべての人が希望を
もって暮らす共生社会のために～」より、所定の申込フォームに情報
をご入力ください。

●インターネットをご利用されない方は、お電話でお申し込みください。
電話:0561-64-1155
(社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会 地域包括支援センター)
受付時間:9:00～17:00(月曜休館日、祝日の場合は翌平日)

共催:愛知県立大学・長久手市
後援:愛知県

長久手市 NAGAKUTE CITY
愛知県立大学 AICHI PRESTIGE UNIVERSITY

【会場の様子】



【会場の様子】



「あいちシルバーカレッジ専門コース」

「あいちシルバーカレッジ」は、シニア世代の方々に学習の機会を提供することにより、生きがいと健康づくりを図るとともに、地域の社会活動の中核となる人材を養成するため、平成 3(1991)年度から愛知県が開講している。さらに、「あいちシルバーカレッジ」で学んだことを活用して、それぞれの地域で社会参加活動の体験から実践へつなげるための専門的な学習の場として、「あいちシルバーカレッジ専門コース」を開講しており、本学も一部の企画立案や運営に携わっている。

テーマ 高めよう防災力～命と暮らしを災害から守る～

会 場 愛知県社会福祉会館、愛知県防災教育センター、名古屋市港防災センター、瀧上工業雁宿ホール

参加者 30 名（あいちシルバーカレッジ卒業生）

実施日程および内容

開講日	内容
11 月 7 日（木）	・開講式／オリエンテーション／自己紹介 ・基礎講座 ① 愛知県における高齢社会の現状 ② 愛知県の防災施策について・専門講座 1 「各家庭における防災」 ・講義&グループワーク
11 月 12 日（火）	・専門講座 2 「各地域での防災」 ・フィールドワーク①「災害図上訓練」
11 月 14 日（木）	・専門講座 3 「遺跡や文化遺産を防災に活用」 ・フィールドワーク②「避難所運営ゲーム」
11 月 29 日（金）	・専門講座 4 「社会的弱者の避難対策 弱者の立場から」 講師：清水 宣明(愛知県立大学看護学部 教授) ・フィールドワーク③「防災体験及び防災トーク」
12 月 13 日（金）	・専門講座 5 「被災地支援者・ボランティアセンターの話」 ・グループディスカッション 「災害ボランティアセンターのワーク」
12 月 20 日（金）	・専門講座 6 「避難所でできる健康維持」 講師：藤野 あゆみ(愛知県立大学看護学部 教授) 他 ・専門講座 7 「防災問題（総括）」 ・グループディスカッション コメンテーター：清水 宣明(愛知県立大学看護学部 教授) ・閉講式

【会場の様子】 11 月 29 日(金)



【会場の様子】 12 月 20 日(金)



「性暴力被害防止セミナー」

1. 運営種別：共催（愛知県防災安全局県民安全課安全なまちづくりグループ、
愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和6（2024）年 7月17日（水）14：00～16：00
3. 会 場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 多目的ホール
4. 講 師：北浦 史恵 警部補 愛知県警察本部生活安全部生活安全特別捜査課
片岡 笑美子 氏（一社）日本フォレンジックヒューマンケアセンター会長
長江 美代子 氏（一社）日本フォレンジックヒューマンケアセンター副会長
5. 参加者数：80名（一般75名 うち学生1名 関係者5名）

【概 要】

各講師より性暴力被害の実態や未然の防止策、被害者に対する支援等について講演が行われた。北浦氏からは、性暴力犯罪の実態報告や予防策、スマホアプリを使った撃退方法について報告があった。片岡氏からは、被害にあった方への支援策や相談窓口について、長江氏からは、被害者の事例に基づいた救済の経緯等が報告された。

【チラシ】

愛知県・愛知県立大学共催
性暴力被害防止セミナー
参加費無料
定員 100名
先着順

性暴力による被害は、2019年度以降の5年間で、多く発生しています。性暴力は重大な人権侵害であり、被害者に対する支援等について講演が行われます。また、被害者に対する支援等について講演が行われます。性暴力被害の実態や未然の防止策、被害者に対する支援等について講演が行われます。性暴力被害の実態や未然の防止策、被害者に対する支援等について講演が行われます。

日程 2024年7月17日(水) 14:00～16:00 (受付 13:30～)
会場 愛知県立大学長久手キャンパス K棟文化交際センター地下1階 多目的ホール
(長久手市栄分館1522番3)
内容 ①動向講話「性暴力被害防止のための予防策」
講師：愛知県警察本部生活安全部生活安全特別捜査課
②講演「性暴力被害の実態と支援活動 ―女性に対する必要性―」
講師：一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター
会長 片岡 笑美子 氏
③講演「性暴力被害者のトラウマ・PTSD」
講師：一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター
副会長 長江 美代子 氏

申込方法 参加申込書(裏面に必要事項を御記入の上、メール、FAX又は郵送で
お申し込みください。
・参加費は無料です。お申し込みの上、直接会場にお越しください。
・お申し込みのみにてはございません。御参加いただける場合はお申し込みください。
申込期限 2024年7月12日(金)
その後は、以下のWebページでお知らせします。
(<http://www.pref.aichi.jp/seisaku/seisaku/2024/07/12/1604777.htm>)

【申込み・問合せ先】
愛知県防災安全局県民安全課安全なまちづくりグループ
〒460-8501 名古屋市中区5-1-2
TEL 052-954-9178
FAX 052-954-9110
メール kami@pref.aichi.jp

【会場の様子】



【会場の様子】



「MAPU どうする 愛知県の観光」

1. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和 6（2024）年 10 月 28 日（月） 16：15～17：30
3. 会 場：愛知県立大学長久手キャンパス E 棟 CroCuS（クロッカス）／オンライン
4. 話題提供者：野村 俊介 氏（一般社団法人愛知県観光協会地域連携部部長）
河野 誠 氏（一般社団法人愛知県観光協会誘客事業部部長）
浦谷 理佳 氏（一般社団法人愛知県観光協会地域連携部係長）
5. 参加者数：29 名（対面 16 名、オンライン 13 名）

【概 要】

本学では、自治体等の各団体の抱える課題を学内で共有しながら課題解決を図る MAPU(※)活動を行っている。令和 6（2024）年度は、愛知県の観光資源を活用した地域づくりや観光振興に取り組んでいる愛知県観光協会を招き、観光の視点で愛知県が現在抱えている課題点を直接聴くイベントを開催した。参加者から様々な意見や質問がされるなど、活発な討論がされた。

※ MAPU …

Meeting on A Problem-solving Unit 又は Make A Problem-solving Unit の略。

【会場の様子】



【チラシ】

MAPU 2024 開催 
【どうする 愛知県の観光】

「観光」は「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った「観光地域づくり」の舵取り役を期待されています。愛知の様々な「観光資源ポテンシャル」を学び「観光地域づくり」を促進する取り組みについて、学生の皆さん、教職員の皆さんと一緒にアイデアの意見交換をしましょう！

講 師 一般社団法人愛知県観光協会
地域連携部 部長 野村 俊介 様
テーマ 愛知県の観光ポテンシャルについて

司会：山本 理絵（愛知県立大学 教育福祉学部 教授）

日時：2024年10月28日（月） 16:15～17:30

場所：① 愛知県立大学 長久手キャンパス E棟2階 CroCuS
② オンライン（Zoomウェビナー） **事前申込不要**

 <https://zoom.us/j/97653168699?pwd=J9AwbN16Y8Q6PrwdQYYhJbshatEKn7.1>
ウェビナーID: 976 5316 8699
パスコード: 478143

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
メール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

【主催】 愛知県立大学（地域連携センター）

※状況により、延期・中止またはオンライン開催のみに変更することがあります。最新情報はWebサイトでご確認ください

MAPU: Meeting on A Problem-solving Unit / Make A Problem-solving Unit
地域の皆と共、本学学生・教職員で地域課題を解決する取り組み

「愛知県地域づくり活動フォーラム」

1. 運営種別：共催（愛知県、愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和 7(2025)年 2 月 18 日（火） 13：30～16：15
3. 会 場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール／オンライン
4. 講 師：岩崎 恭典 氏（四日市大学名誉教授）
5. 参加者数：90 名（会場 73 名、オンライン 13 名）

【概 要】

愛知県及び本学では、住民主体による自主的活動により地域の活性化を図る地域づくり活動について、市町村職員及び地域づくり団体関係者等に知識や関心を深めることを目的として、毎年愛知県地域づくり活動フォーラムを開催している。令和 6（2024）年度は以下の内容で開催した。

① 2024 年度愛知県地域づくり活動表彰式及び活動発表

- ・ 特定非営利活動法人 まちづくりかりや（刈谷市）
- ・ 東コミュニティ推進協議会（犬山市）
- ・ 特定非営利活動法人 心豊かに ARD の会（尾張旭市）

② 愛知県立大学 学生グループ活動発表

テーマ：愛知の地域社会史をめぐる文献学研究とパブリックヒストリー実践
ー文化財所蔵者・地域博物館・地域住民との連携ー
発 表：愛知県立大学中世史研究会

③ 講演

テーマ：地域づくりに必要なモノ、ヒト、カネ
ーどう調達するか、少しばかりのヒントをー
講 師：岩崎 恭典 氏（四日市大学名誉教授）

【会場の様子】



(2) 長久手市

長久手市大学連携調整会議への参加について

長久手市と市内 4 大学（愛知県立芸術大学、愛知医科大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学）は、まちづくりにおいて、大学が有する知的資源や特色を活かし、学術研究の場や機会を大学に提供するなど、相互の発展や充実に向けて組織的な連携を深めることにより、「人が輝き 緑があふれる 交流都市」としてふさわしい地域社会づくりに資することを目的として、平成 24（2012）年 12 月 20 日に長久手市大学連携推進協議会を設置しました。

その後、平成 30（2018）年 3 月に、長久手市において「長久手市大学連携推進ビジョン 4U」が策定され、長久手市内 4 大学とその学生・市民・企業などとの地域プラットフォームを築いて最大限の相乗効果を発揮させるため、令和 2（2020）年 4 月 1 日に長久手市大学連携推進協議会を発展させた長久手市大学連携調整会議を設置しました。

本会議の主旨に基づき、令和 6（2024）年度は以下の事業を実施いたしました。

○長久手市大学連携調整会議の開催

令和 6（2024）年 6 月 24 日（月）長久手市役所開催

令和 7（2025）年 1 月 31 日（金）長久手市役所開催

○その他関係各課からの依頼の窓口業務

(3) 高大連携

「あいち STEAM 能力育成事業『知の探究講座』」

愛知県教育委員会では、愛知の未来を担う人材の育成を目指すSTEAM (Science、Technology、Engineering、Liberal arts、Mathematics) 教育を推進するため、県内の6大学の協力の下、「知の探究講座」を開講しています。本学も6大学の1校として、企画・運営に携わっています。

講座名 「人のことを知る」
会 場 愛知県立大学長久手キャンパス K 棟
参加者 30 名（県内高校からの希望者）
実施日程および内容(時間は各日とも 10:00～16:00)

	実施日	講座内容
第1回	8月16日(金)	1 : ガイダンス 2 : ことと人と社会
第2回	8月20日(火)	3 : 自己理解と他者理解 4 : 音楽と人の心
第3回	8月21日(水)	5 : 自分とは何か 1 6 : 自分とは何か 2
第4回	8月22日(木)	7 : メンタルヘルス・リテラシー 8 : 信頼関係とは何か
第5回	8月23日(金)	9 : 人の心とその発達 10 : 他者の存在と心
第6回	8月26日(月)	11 : 身体活動と人の心 12 : 人の心と性格の測定
第7回	10月19日(土)	13 : 探求テーマを考える① 14 : 探求テーマを考える②
第8回	11月2日(土)	15 : 講座別発表会の準備 16 : 講座別報告発表会

- ・第1回推進会議 令和6(2024)年5月8日(水) 愛知県三の丸庁舎
- ・開講式 令和6(2024)年7月20日(土) 豊田工業大学 豊田喜一郎記念ホール
- ・全体発表会 令和7(2025)年1月12日(日) 名古屋工業大学 NITech Hall
- ・第2回推進会議 令和7(2025)年1月28日(火) 愛知県三の丸庁舎

【会場の様子】



（４）その他

①愛知工業大学（地域防災研究センター）との学生連携

○学校防災シンポジウム 2024「明日から実践！保育施設における防災の取り組み」

1. 日 時：令和 6（2024）年 12 月 21 日（土） 13：30～16：00
2. 会 場：岐阜聖徳学園大学附属幼稚園
3. 主 催：岐阜聖徳学園
4. 協 力：愛知工業大学、愛知県立大学、岐阜大学、（株）エーアイシステムサービス

○学生大防災会議 2025

1. 日 時：令和 7（2025）年 3 月 14 日（金） 13：00～16：30
2. 開催方法：愛知工業大学自由が丘キャンパス 本館 3 階 311 講義室
3. 主 催：愛知工業大学地域防災研究センター
4. 共 催：豊田工業高校専門学校・愛知県立大学・日本赤十字豊田看護大学
5. 後 援：国土交通省 中部地方整備局・名古屋地方気象台・愛知県・豊田市・
（一財）河川情報センター・日本赤十字社愛知県支部・
認定 NPO 法人愛知ネット・認定 NPO 法人日本防災士機構

○相互情報提供

両センターのイベントを互いに広報している。

【チラシ】



②ボランティア活動

地域連携センターでは、地域等との連携活動の一つとして、自治体や公益性・公共性のある事業を行う団体等から本学学生を対象としたボランティア依頼を受け付け、ボランティア活動のネットワーク作りを行っている。

<2024 年度の状況>

内容	依頼件数	参加人数（延べ人数）
・認知症カフェ運営スタッフ ・学習支援ボランティア ・ユニバーサルボランティア （愛・地球博記念公園内） ・イベント補助 等	30 件	238 名

(5) 連携協定

○尾張旭市教育委員会と愛知県立大学との教育分野における連携協力に関する協定

教育分野で相互に密接な連携協力を行うことにより、両者の教育・研究の充実と地域社会の発展に寄与することを目的として、協定を締結しました。
(令和6(2024)年12月4日(水))

【締結式の様子】



<連携事項>

- (1) 学生等による市立小学校及び中学校の教育活動の支援に関する事
- (2) 教職員養成における協力に関する事
- (3) 教職員の資質向上に関する事
- (4) スクールソーシャルワーカー及び教職員への指導助言、研修等に関する事
- (5) 教育、文化の振興、生涯学習の推進に関する事
- (6) 教育上の諸問題に係る調査研究に関する事
- (7) その他甲乙双方が協議して必要と認める連携事項に関する事

4. 公開講座等

(1) 学術講演会

1. 講演名：「紫式部は何を伝えたかったのか？」

—昭和13年『小學国語読本 巻十一』の『源氏物語』を手がかりに—

2. 開催日時：令和6(2024)年11月22日(金) 13:00～14:30

3. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス L棟 講堂

4. 講師：久富木原 玲 氏(愛知県立大学名誉教授)

5. 参加者数：268名

本講演会では、愛知県立大学前学長で名誉教授でもある久富木原氏が、戦前の小学校国定教科書に掲載された「源氏物語」を手掛かりに、紫式部が作品にこめた思いについて講演した。講演会終了後、講堂ホワイエにてアフタートークが開催され、多くの方の参加があった。

【会場の様子】



【チラシ】

学術講演会
紫式部は何を伝えたかったのか？
—昭和13年『小學国語読本 巻十一』の『源氏物語』を手がかりに—

戦前の小学校国定教科書に掲載された「源氏物語」が、戦時体制の中でどのように扱われていたのか、その背景と、紫式部の作品がもたらした影響について、久富木原 玲 氏による講演を行います。

2024.11.22(金) 13:00～14:30
愛知県立大学長久手キャンパス 講堂(L棟)

交通アクセス
「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩5分

定員 900名 受講料 無料

申込
愛知県立大学地域連携センター申込サイト
(<http://www.boraiichi-pu.ac.jp/renkei/index.html>)もしくはQRコードから
アクセスいただき、申込ページよりお申し込みください。

※申込より、定員や申込状況により開催の要否がある場合があります。開催はSNSやメールでご確認ください。

※問合せ先：愛知県立大学 学術振興部 研究支援・地域連携課 メール: info@boraiichi-pu.ac.jp
〒466-8601 愛知県立大学長久手キャンパス L棟 講堂

(2) 愛県大アカデミックデイ

「愛県大アカデミックデイ」とは、地域社会への貢献や生涯学習に向けた取り組みの一つとして、愛知県立大学に蓄積された研究成果を広く社会に還元する、オンデマンドによる研究発表会のことです。

1. 日 時：令和 7(2025)年 3 月 3 日（月）～令和 7(2025)年 3 月 9 日（日）
2. 会 場：オンデマンド（Vimeo）
3. 参加者数：133 名
視聴数合計：延べ 499 回
4. 主なコンテンツ：
 - 教員による自由スタイルの研究発表
 - 公開講座・イベント
 - 地域連携センターの活動紹介
 - 愛知県政 150 周年記念 SPECIAL CONTENTS 等

【チラシ】



【コンテンツ】



(3) 連続公開講座「県大アゲイン」

「県大アゲイン」とは、かつて愛知県立大学で教鞭を取られた先生方をお迎えする公開講座のことで、卒業生が旧交を温める場としているほか、地域の方々に愛知県立大学を広く知っていただく機会として、毎年開催しています。

1. 講座名：連続公開講座「県大アゲイン」
2. 日時：【第1回】令和6(2024)年6月2日(日) 10:30～12:00
 【第2回】令和6(2024)年6月16日(日) 10:30～12:00
 【第3回】令和6(2024)年7月4日(木) 10:30～12:00
3. 会場：対面会場(サテライトキャンパス)/オンライン
4. 参加者数：延べ122名

	対面会場	オンライン	合計
第1回	25	27	52
第2回	17	17	34
第3回	21	15	36
合計	63	59	122

5. 講座内容・講師名

○第1回：

テーマ	靖国神社問題と日中関係
講師	樋口 浩造 氏（日本文化学部歴史文化学科） 在職：1995年10月～2024年3月



○第2回：

テーマ	日本の外国語教育、第二言語教育の在り方を考える ～複言語使用社会に向けて
講師	桑村 昭 氏（国際戦略室） 在職：2011年10月～2024年3月



○第3回：

テーマ	戦後台湾・日本語使用禁止下における日本の文化アイデンティティの選択と再編 —ある台湾知識人・葉笛(1931-2006)の日本体験を通して
講師	工藤 貴正 氏（外国語学部中国学科） 在職：2003年10月～2021年3月



(4) 公開講座

令和6(2024)年度実施 地域連携事業リスト

	公開講座	種別	開催日	参加人数		頁数
				対面	オンライン	
1	<地域連携事業（公開講座）×コミュニティ通訳実習> 高齢化する外国人住民：日本の年金制度と介護保険制度	共催	5/11	114	11	20
2	災害と伝承	共催	6/8	79	—	21
3	スマートフォンやパソコンなんてこわくない！ 健康のために高齢期の今こそ活用しよう	主催	6/28	17	36	22
4	飯山由貴《In - Mates》上映会＋対談 現代アートが描く人権、精神障がい、レイシズムの現在	主催	7/10	115	—	23
5	和装本講座	共催	7/24	29	—	24
6	未来を拓く共創活動～次なる“空飛ぶクルマ”を 生み出す人をどう育むか	共催	8/3	404	—	25
7	オンライン・メディアの感動ニュースから英語と異文化 を学ぼう	共催	8/10	—	15	26
8	異文化「終活」セミナー（その5）	共催	9/7	18	87	27
9	日本におけるコミュニティ通訳	共催	10/2	82	363	28
10	文化財レスキュー活動の啓蒙・普及 大学が取り組むべき 課題「中部地方の歴史保全活動に学ぶ」	共催	10/13	142	—	29
11	2024 年度発達障がいフォーラム 「子どもの発達を保障するための支援とは」	共催	10/17	19	51	30
12	激変する世界を地域から考える	共催	10/23	54	64	31
13	東アジアの版本を問う	共催	11/9	176	—	32
14	2024 年度第1回 愛知県立大学 世界史セミナー アメリカはなぜイスラエルを支援するのか	共催	11/16	44	—	33
15	「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体…キュレーターを招く 暮らしから建築を見る～自然、都市、社会～	共催	11/17	29	78	34
16	インドネシア現地政治経済事情講演会 プラボウォ政権 をどう見るか—ジョコウィ政権からの継承と刷新—	共催	12/6	6	30	35
17	スペイン語・ポルトガル語圏専攻公開講座 「サンパウロ市におけるジェンダーの不平等とインター セクシュナリティ—都市、環境と社会問題—」	共催	12/18	53	30	36
18	もっと知りたいインドネシア語講座（初～中級）	主催	1/28～ 1/31	77	—	37
19	第7回 国際セミナー 2025 年、世界の展望	主催	2/14	—	110	38
20	2024 年度第2回 愛知県立大学 世界史セミナー 20 世紀ドイツにおける戦争障害者支援の側面 —盲導犬の活用	共催	2/22	25	—	39
地域貢献活動			事業種別	開催日		頁数
1	愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」		共催	11/12～12/3		40

「＜地域連携事業（公開講座）×コミュニティ通訳実習＞
高齢化する外国人住民：日本の年金制度と介護保険制度」

1. 申請者：吉田 理加（愛知県立大学外国語学部大学院国際文化研究科 准教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学国際文化研究科／外国語学部／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 5 月 11 日（土） 14：00～16：00
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S201 教室／オンライン
5. 講師：城間 ビクトル 氏（Kokoro Peruano）
松本 アルベル 氏（イデアネットワーク代表取締役）
王 榮（木下 貴雄）氏（外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト代表）
6. 参加者数：125 名（会場 114 名、オンライン 11 名）

【概要】

アルゼンチン、ペルー、中国出身の講師から日本の年金制度や介護保険制度について、外国人住民向けに講演が行われた。

講演では、本学の大学院実習生による同時通訳を交えながら行われた。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



「災害と伝承」

1. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 6 月 8 日（土） 13：30～16：30
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール
5. 講師：二本松 康宏 氏（静岡文化芸術大学文化政策学部 教授）
橋本 操 氏（岐阜大学教育学部 准教授）
中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部 教授）
6. 参加者数：79 名

【概 要】

日本説話伝承の災害描写についての概説の後、外部講師の昔話、地理学の専門の研究者による討議が行われた。

各専門分野のそれぞれの観点から、どのような場所で災害がいかに語られ、伝えられてきたのかまた、災害伝承と地域住民の防災意識との関連、災害伝承が災害意識に与える影響や課題について検討された。

講演後、講演者と受講者との意見交換の時間も設けられた。

【講座の様子】



【チラシ】



「スマートフォンやパソコンなんてこわくない！健康のために高齢期の今こそ活用しよう」

1. 申請者：青柳 美樹（愛知県立大学看護学部看護学科 准教授）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 6 月 28 日（金） 14：00～16：00
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール／オンライン
5. 講師：鈴木 満 氏
（認定 NPO 法人心の架け橋いわて理事長、中外製薬株式会社統括産業医）
佐々木 淳 氏（大和大学情報学部 教授）
6. 参加者数：53 名（会場 17 名、オンライン 36 名）

【概 要】

講演では、大学生が高齢期の方へ情報通信技術活用の支援を行っている「愛のまごの手プロジェクト」の活動及び地域での情報機器活用支援に携わっている講師の経験から、高齢期の方々がどのように変わっていったかをお話しいただいた。

後半では会場に参加された一般の方、学生に体験談や困っていること、家族がどのように ICT と向き合っているかを聞き取りし、課題を共有した。

【チラシ】



【講座の様子】



「飯山由貴《In-Mates》上映会＋対談
現代アートが描く人権、精神障がい、レイシズムの現在」

1. 申請者：山本 かほり（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 7 月 10 日（水） 13：30～16：30
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S201 教室
5. 講師：飯山 由貴 氏（映像作家／芸術家）
FUNI（Jeong_Hoon Kwak）氏（ラッパー）
橋本 明（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授）
6. 参加者数：115 名

【概要】

第一部では 2021 年に制作した《In-Mates》を上映した。上映前には東京都人権部による上映会中止問題についての解説、上映後に飯山氏と主演の FUNI 氏、山本かほり（本学教員）による作品の背景に対する対談が行われた。

第二部では飯山氏、FUNI 氏、橋本教員による現代アートと人権・精神障害・レイシズムに関する対談、第三部では FUNI 氏によるラップが披露された。

【講座の様子】



【チラシ】



「和装本講座」

1. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 7 月 24 日（水） 13：30～16：00
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール
5. 講師：青木 眞美 氏（西尾市岩瀬文庫 学芸員）
上野 加耶子 氏（西尾市岩瀬文庫 学芸員）
李 澤珍（愛知県立大学日本文化学部 講師）
6. 参加者数：29 名

【概 要】

講師から和装本の概要を学んだあと、西尾市岩瀬文庫学芸員の青木氏と上野氏の指導の下、和装本の作成を行った。
細かな手作業の場面は講師の映像をスクリーンに投影し、時間内に全参加者の和装本が完成した。

【チラシ】



【講座の様子】



「未来を拓く共創活動～次なる“空飛ぶクルマ”を生み出す人をどう育むか」

1. 申請者：奥田 隆史（愛知県立大学情報科学部情報科学科 教授）
2. 運営種別：共催（全国高等学校情報教育研究会、愛知県高等学校情報教育研究会、愛知県立大学《地域コミュニティにおける高齢者の介護予防・孤立防止を目的としたニューノーマルな時代の「遊び」開発プロジェクト、地域連携センター》）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 8 月 3 日（土） 13：30～14：30
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 講堂
5. 講師：中村 翼 氏（有志団体 Dream On 代表・慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科空飛ぶクルマラボ 特任助教）
6. 参加者数：404 名

【概要】

空飛ぶクルマの概要、生み出した想い、実現に向けた試行錯誤とその過程で得た経験を基に開発した「次世代ビジョナリー人材育成プログラム」について講演が行われ、空飛ぶクルマの VR 体験会も開催された。

【チラシ】

愛知県立大学公開講座
未来を拓く共創活動
次なる“空飛ぶクルマ”を生み出す人をどう育むか

講師
中村 翼 氏
有志団体 Dream On (ドリームオン) 代表
慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
空飛ぶクルマラボ 特任助教

【コーディネーター】奥田 隆史(愛知県立大学情報科学部 教授)

開催日時
2024年8月3日(土) 13:30～14:30
(開場時間 13:15)

会場
愛知県立大学長久手キャンパス 講堂
【交通アクセス】東海自動車線(旧・三河線)長久手駅下車徒歩5分

申込方法
愛知県立大学地域連携センターWebサイトにアクセスいただき
「未来を拓く共創活動」より所定の申込フォームに情報をご入力ください。
<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/index.html>

QRコード

お問い合わせ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課
E-mail: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

共催：全国高等学校情報教育研究会、愛知県高等学校情報教育研究会、愛知県立大学《地域コミュニティにおける高齢者の介護予防・孤立防止を目的としたニューノーマルな時代の「遊び」開発プロジェクト、地域連携センター》

【講座の様子】



【講座の様子】



「オンライン・メディアの感動ニュースから英語と異文化を学ぼう」

1. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学多文化共生研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 8 月 10 日（土） 10：00～11：30
4. 会場：オンライン
5. 講師：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
6. 参加者数：15 名

【概要】

米国テレビから、感動ニュースが取り上げられ、英語表現と異文化に関する講義が実施された。

【チラシ】

愛知県立大学 公開講座
JAF Future and Learning

英検2級以上向け

**オンライン・メディアの
感動ニュースから
英語と異文化を学ぼう**

WHEN 開催日時 オンライン講義
2024年8月10日（土）10時～11時30分

講師 秋田 貴美子
（愛知県立大学 外国語学部 国際関係学科 教授）

内容
オンライン・メディア
（海外のテレビ・ラジオ
など）から感動する内容の
ニュースや話題を取り上げ
英語表現と異文化の意味
を楽しく学習します。

定員 先着 20名
※英検2級以上の方向けです

申込み 愛知県立大学
地域連携センターWebサイト
専用ページより
申込みください。

QRコード

お問い合わせ先：
愛知県立大学 国際関係学科
研究支援・地域連携課
E-mail: research@u-aic.ac.jp

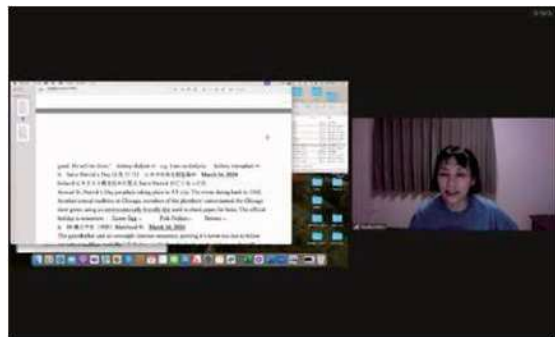
申込み締切日: 8月7日（水）

問い合わせ先:
愛知県立大学 国際関係学科
研究支援・地域連携課
E-mail: research@u-aic.ac.jp

STAND WITH UKRAINE

共催：愛知県立大学 多文化共生研究所・地域連携センター

【講座の様子】



「異文化「終活」セミナー（その5）」

1. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
2. 運営種別：共催（あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト多文化ソーシャル・ムーブメント（TSM）、愛知県立大学生涯発達研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 9 月 7 日（土） 13：30～16：30
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール／オンライン
5. 講師：王 榮（木下 貴雄）氏（あいち多文化ソーシャルワーカーの会代表・終活ライフケアプランナー・外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト代表・心療回想士・認知症介助士・健康介護コンシェルジュ）
富田 かおり 氏（看護師・愛恩訪問看護ステーション管理者）
張 悦 氏（株式会社張福祉コンサルティング代表）
伊藤 裕子（愛知県立大学看護学部 助教）
6. コーディネーター：神田 すみれ（愛知県立大学生涯発達研究所 研究協力者）
7. 参加者数：105 名（会場 18 名、オンライン 87 名）

【概要】

趣旨説明の後、地域包括支援センターの調査報告、外国人高齢者調査報告及び提言、グリーフケア（身近で大切な人の死などに伴う悲嘆に寄り添うサポート）に関する報告が行われた。
その後、参加者からの質問を交えながら、対談形式で異文化終活に関する質疑と討論が行われた。

【講座の様子】



【チラシ】

愛知県立大学 地域連携推進 公開講座 異文化「終活」セミナー

海を越える悲しみを支えあうために
異文化「グリーフケア」を考えるセミナー

大切な人の死に別れ、涙を流すのは当然のことです。しかし、涙を流すだけでは悲しみは消えません。悲しみは、心の奥深くに潜み、時を越えても消え去らないことがあります。異文化「グリーフケア」は、悲しみを支えあうための大切な取り組みです。異文化「グリーフケア」は、悲しみを支えあうための大切な取り組みです。異文化「グリーフケア」は、悲しみを支えあうための大切な取り組みです。

日時：2024年 9月 7日（土）13:30 ～ 16:30
会場：愛知県立大学 長久手キャンパス K 棟地下1階 多目的ホール（オンラインあり）

1. 開会あいさつ 山本 理絵（愛知県立大学 教育福祉学部 教授）
2. 趣旨説明 王 榮（あいち多文化ソーシャルワーカーの会代表・終活ライフケアプランナー）
3. 外国人高齢者調査報告・提言
4. 「グリーフケア」（死や大切な人の死などに伴う悲嘆に寄り添うサポート）について
5. ディスカッション/異文化「グリーフケア」について考える

パネリスト： 富田 かおり 氏（看護師・愛恩訪問看護ステーション管理者）
コーディネーター：神田 すみれ（愛知県立大学生涯発達研究所 研究協力者）
※事前申し込みにより、参加費が異なります。詳しくはチラシをご覧ください。

参加費無料となります。9月4日（水）までに、以下の方法でお申し込みください。

- 愛知県立大学 地域連携推進 Web 申込システム
- QRコード、Eメールの届いた文字コードをWebサイトアドレスにアクセス
- 申し込みの受付は9月4日（水）までです。<https://form.bunaido.com/aichu/finalseat.html>

「死」について、言葉では言い表せない悲しみを感じることがあります。是非ともWebサイトにてご確認ください。

共催：愛知県立大学（生涯発達研究所・生涯発達センター）
協力：あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)

1. 申請者：吉田 理加（愛知県立大学外国語学部スペイン・ポルトガル語圏専攻 准教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学国際文化研究科／外国語学部／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 10 月 2 日（水） 14：00～15：30
4. 会 場：愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S201 教室／オンライン
5. 講 師：鳥飼 玖美子 氏（立教大学 名誉教授）
司 会：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部 教授）
6. 参加者数： 445 名（会場 82 名、オンライン 363 名）

講師から、通訳者としての苦労、異文化・異言語間コミュニケーションを円滑に進める役割を担う存在の重さと複雑さ、共生社会実現を使命とするコミュニティ通訳の独自性と意義について、自らの体験で語られた。

[illegible]

A wide-angle photograph of a large lecture hall during a lecture. The hall is filled with students seated in tiered rows, facing the front. At the front of the hall, two large projection screens display the same slide titled "RANKING OF INNOVATION". The slide lists various countries and their corresponding innovation scores. A lecturer is standing at the front center, and a small table with a microphone is positioned in front of the screens. The room has large windows on the right side, and the overall atmosphere is that of a formal academic setting.

文化財レスキュー活動の啓蒙・普及
大学が取り組むべき課題「中部地方の歴史保全活動に学ぶ」

1. 申請者：服部 亜由未（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 准教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部／人間の尊厳と平和のための人文社会研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 10 月 13 日（日） 14：00～16：30
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール、小ホール
5. 講師：山本 英二 氏（信州資料ネット代表・信州大学人文学部 教授）
 大塚 英二 氏（東海資料ネット代表・愛知県立大学 名誉教授）
 伊藤 伸江（愛知県立大学日本文化学部 教授）
 服部 亜由未（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
6. 参加者数：142 名

【概 要】

第 1 部の基調講演として 2019 年に長野県を襲った「令和元年東日本台風」の緊急対応として設立された「信州資料ネット」の活動、過去の長野県内の災害と史料救出活動に関して、山本氏による講演が行われた。

第 2 部の話題提供では、大塚氏より東海歴史資料保全ネットワークの活動や愛知県文化財防災ネットワークの進展について、服部教員より能登半島地震後の文化財レスキュー活動の動きや本学の公開講座について、伊藤教員より大学院生との連歌資料調査活動、国文学の資料保全と継承・活用について紹介された。

【講座の様子】



【チラシ】

愛知県立大学公開講座
文化財レスキュー活動の啓蒙・普及
大学が取り組むべき課題

**中部地方の
歴史資料保全活動に学ぶ**

第1部 基調講演
山本 英二 氏
 (信州資料ネット代表・信州大学人文学部 教授)

第2部 話題提供
 大塚 英二 氏 (東海資料ネット代表・愛知県立大学 名誉教授)
 伊藤 伸江 (愛知県立大学日本文化学部 教授)
 服部 亜由未 (愛知県立大学日本文化学部 准教授)

第3部 意見交換

開催日時 **2024年10月13日 (日) 14：00～16：30**

会場 **愛知県立大学 長久手キャンパス**
 学術文化交誼センター地下1階 多目的ホール
 (空母アタカス) 東館付録庫 (リネモ) (第一・第二階研究図書棟) 地下書庫6号

申込方法 **愛知県立大学地域連携センター 申込みサイト**
<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/region/index.html> に
 アクセスいただき、申込ページよりお申込みください。

お問い合わせ **愛知県立大学 研究支援・地域連携課**
 メール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp
 〒466-8601 愛知県立大学 1-1 本学2号館 人間学階 愛知県立大学人文社会研究棟 地域連携センター

2024 年度発達障がいフォーラム「子どもの発達を保障するための支援とは」

1. 申請者：三山 岳（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
2. 運営種別：共催（瀬戸市教育部学校教育課・瀬戸市児童発達支援センター(発達支援室)、愛知県立大学生涯発達研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 10 月 17 日（木） 14：30～16：30
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール／オンライン
5. 講師：市川 奈緒子 氏 オンライン講演
（白梅学園子ども学部元教授・渋谷区子ども発達相談センターチーフアドバイザー）
6. 司会：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部 教授）
7. 参加者数：70 名（会場 19 名、オンライン 51 名）

【概要】

現場の職員が子どもの発達を保障する支援をする際に大切にしたいことを実践の話を交えて講演され、個性を大切にするインクルーシブ保育・教育という考え方を学んだ。

【チラシ】

2024年度発達障がいフォーラム

子どもの発達を保障するための支援とは

子どもの発達相談や保育・教育、療育の現場で日々活躍されている講師が、そうした現場の職員が子どもの発達を保障する支援をする際に大切にしたいことについて具体的な実践の話を交えながら話します。現場の職員にとって明日からの支援に向けた視点が得られると思います。

日時 2024 年 **10月17日(木)** 14:30～16:30
会場 愛知県立大学 学術文化交流センター 地下1階 多目的ホール (オンライン併用)
 アクセス：東郷丘駅(リニモ)「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩5分

講師 市川 奈緒子 氏 (白梅学園大学 子ども学部元教授)
 東京大学大学院 教育学研究科博士課程 退学 児童発達支援センター うめだ・あけぼの学園心理職を経て大学教員を務めた後、現在渋谷区子ども発達相談センターチーフアドバイザーを務める
 著書『医療的ケア児の保育：実践から学ぶ共に育ちあう園づくり』『「家族の応援」を大切にする支援』『気になる子の本当の発達支援』 など多数

定員 50名 (対面参加) (オンライン参加：500名)
参加費 無料
申込先 ねの二次コード、もしくは下記アドレスよりお申し込みください
 URL: <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/index.html>
締切 10月14日(月・祝)
問合せ 愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
 メール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

※「状況により、延期・中止またはオンライン開催のみに変更することがあります。決断2週間前までに確認ください」

【共催】 愛知県立大学生涯発達研究所 瀬戸市教育部学校教育課 愛知県立大学地域連携センター 瀬戸市児童発達支援センター(発達支援室)

【講座の様子】



「激変する世界を地域から考える」

1. 申請者：内記 理（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部／人間の尊厳と平和のための人文社会研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 10 月 23 日（水） 14：00～17：00
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S101 教室／オンライン
5. 講師：イスマトフ アジズ（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
クラーマー スペン（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
村上 勇介 氏（京都大学東南アジア地域研究研究所 教授）
6. 参加者数：118 名（会場 54 名、オンライン 64 名）

【概要】

イスマトフ教員からウズベキスタンがソ連崩壊により独立した後にソ連の一員であった歴史やロシアとの関わりをどのように捉えてきたかについて報告された。

クラーマー教員からは、昭和の大合併に際して、ローカル・コミュニティにどのような動きがあったかについて報告された。

その後、村上氏が両講演についてのコメントや質問をした上で、20 世紀後半以降に世界規模で進む秩序の融解と、現在における新秩序の模索についての紹介をした。

【講座の様子】



【チラシ】

2024年度 愛知県立大学公開講座

激変する世界を地域から考える

コミュニティへの影響が急激に増大する。独立国の崩壊がいつか我々の日本社会において、繰り返されるように受け止め、そこから何を考えるべきなのか。本講座では、コミュニティの発展にめざめる歴史事象について、広く国際的な視野から検討することを通じて、コミュニティが誕生する意味、また、消失する意味について考察する。

2024年10月23日（水） 14:00～17:00（開場13:30）

①: 長久手キャンパス S101講義室（定員200名）
（山崎丘麓線（リニモ）「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩5分）

②: オンライン（Zoomウェビナー）（定員500名）

参加費：無料 事前申し込みが必要です（10/20（日）締切）

14:00 開会

14:30 イスマトフ アジズ（愛知県立大学 日本文化学部 准教授）
～14:50 「ソ連崩壊とウズベキスタンの独立
一帯ソ連（ロシア）とナショナリズムの高揚～」

休憩【10分】

15:00 クラーマー スペン（愛知県立大学 日本文化学部 准教授）
～15:40 「ローカル・コミュニティの発展と変遷 ―市町村合併を中心に―」

休憩【10分】

15:50 村上 勇介 氏（京都大学 東南アジア地域研究研究所 教授）
～16:20 コメント

16:20 討論

16:50 閉会

コーディネーター 内記 理（愛知県立大学 日本文化学部 准教授）

申し込み方法：会場申し込みはポスターに貼付された申し込み用紙に記入し、開場前日の授業までに会場へお持ちください。会場申し込みはポスターに貼付された申し込み用紙に記入し、開場前日の授業までに会場へお持ちください。

【問い合わせ】
愛知県立大学 地域連携センター 受付デスク
メール / renko@buu.aichi-u.ac.jp
https://www.buu.ac.jp/renko/（24時間受付、休日も受け付けます）

【主催】愛知県立大学（日本文化学部、人間の尊厳と平和のための人文社会研究所、地域連携センター）
【共催】愛知県立大学（日本文化学部、人間の尊厳と平和のための人文社会研究所、地域連携センター）
（本講座は、名古屋大学リサーチ・フロンティアプログラムを兼ねています）

電話は052-835-1111と携帯電話からかけられます。

「東アジアの版本を問う」

1. 申請者：本橋 裕美（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部／人間の尊厳と平和のための人文社会研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 11 月 9 日（土） 13：30～17：00
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S201 教室
5. 講師：李 澤珍（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
洲脇 武志（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
6. 参加者数：176 名

【概要】

東アジアの版本について、李教員より江戸期の版本に押された魁星印からのアプローチ、洲脇教員より鮑廷博と岡田挺之の出版物から日中の書物の影響関係を中心に講演された。その後、講演者と丸山教員、本橋教員の 4 名でディスカッションが行われた。

【チラシ】

愛知県立大学公開講座

東アジアの版本を問う

日本と中国の版本を比較しながら、その違いや類似点を認識し、さらに朝鮮半島も含めた東アジア文化圏の問題として討議を行う。文学や歴史、文化の理解に繋がる学術講演会となる。

受講料 無料

講師

李 澤珍 (愛知県立大学日本文学部国語国文学科 講師) 定員120名
『江戸の版本と魁星印』

洲脇 武志 (愛知県立大学日本文学部国語国文学科 准教授)
『鮑廷博『知不足齋叢書』の出版と日本』

【コメンテーター】丸山 裕美子 (愛知県立大学日本文学部歴史文化学科 教授)
【司会】本橋 裕美 (愛知県立大学日本文学部国語国文学科 准教授)

開催日時 2024年11月9日(土) 13:30~17:00

会場 愛知県立大学長久手キャンパスS201教室
【交通アクセス】東海北陸線(リニモ)「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩10分

申込方法

申込締切日：2024年10月8日(火)
愛知県立大学地域連携センターWebサイト
(URL: <https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/index.html>)
アクセスいただき、申込ページよりお申込みください。
(本講座は日本文学部とニオープンキャンパスを兼ねています。)

お問い合わせ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課
メール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp
主催：愛知県立大学(日本文学部・人間の尊厳と平和のための人文社会研究所・地域連携センター)

【講座の様子】



1. 申請者：久田 由佳子（愛知県立大学外国語学部英米学科 教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学世界史研究会／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 11 月 16 日（土） 16：00～18：00
4. 会場：愛知県立大学 サテライトキャンパス
5. 講師：佐藤 雅哉（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
6. 司会：菊池 好行（愛知県立大学外国語学部英米学科 教授）
7. 参加者数：44 名

本講演では「アメリカ合衆国はなぜイスラエルを支援するのか」というテーマについて、アメリカ政治に大きな影響力を持つ福音派キリスト教徒がイスラエルに同情的であるのはなぜだろうかという、より絞られた疑問に変換された形で、アメリカ現代史とグローバル・ヒストリーの立場について講演が行われた。

愛知県立大学
AICHI UNIVERSITY

アメリカはなぜイスラエルを 支援するのか

現在、パレスチナ問題は世界的な注目を集めています。アメリカ合衆国はこの問題に歴史的に深く関与し、現在に至るまで少なからぬ影響力を行使してきました。本セミナーでは、アメリカがパレスチナ問題に関与する背景としてのイスラエルとの同盟関係に注目し、両国の親密な関係性の歴史的な背景を探ります。

コナリムロウ（佐藤雅哉）氏による講演の様子（2024年11月16日）
Yoshihiro Konari (Masayasu Sato) giving a presentation at the "Presenting 'The Jews and the Jews' by David Halberstam" (Nov. 16, 2024) 2024.11.16

お名前
お名前

講師：佐藤 雅哉

愛知県立大学 外国語学部 准教授

■ 日時：2024年11月16日(土) 16:00～18:00(開場15:30)

■ 場所：愛知県立大学サテライトキャンパス（定員35名）

（名古屋市中区栄4丁目4-38 ウィンズ栄から15分）
（メトロ線日比谷駅より徒歩5分、名古屋駅よりバスで15分、方面のバスあり）

参加費無料

【申込方法】 申込締切日：11月13日（木）

愛知県立大学 国際連携センターWebサイトより
<https://www.burairachi-pu.ac/jp/enko/>
<https://www.burairachi-pu.ac/enko/>
（定員満員の場合は、申込締め切り後です。）

※秋学期より、登録・中止はオンライン登録
のWebサイトで可能です。最新情報は
Webサイトにてご確認ください。

【申込先】

愛知県立大学 学術推進部 研究支援・地域連携課
メール：renkei@burairachi-pu.ac.jp

【お問い合わせ】

愛知県立大学 学術推進部 研究支援・地域連携課
メール：renkei@burairachi-pu.ac.jp

主催：愛知県立大学（世界研究学会、国際連携センター）

『不安』から照らす『生』の諸相 ことば・こころ・肉体
 …キュレーターを招く 暮らしから建築を見る～自然、都市、社会～

1. 申請者：藤原 智也（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学不安と生の研究会／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 11 月 17 日（日） 13：00～15：00
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S101 教室／オンライン
5. 講師：岡部 三知代 氏（Gallery A4（ギャラリー エークウッド） 館長）
6. 参加者数：107 名（会場 29 名、オンライン 78 名）

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



**「インドネシア現地政治経済事情講演会
プラボウォ政権をどう見るかージョコウィ政権からの継承と刷新ー」**

1. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
2. 運営種別：共催（東南アジア学会、愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 12 月 6 日（金） 18：00～20：00
4. 会場：愛知県立大学サテライトキャンパス／オンライン
5. 講師：松井 和久 氏（アジア経済研究所元主任研究員・松井グローバル合同会社代表）
6. 参加者数：36 名（会場 6 名、オンライン 30 名）

【概 要】

インドネシア政治経済分析の一線に立ってきた松井氏より、今年 10 月にスタートしたプラボウォ新政権について、大統領選挙及び国会議員選挙を振り返りながら、新政権のビジョンとミッション、直面する課題について解説がなされた。

【講座の様子】



【チラシ】

愛知県立大学
AICHI NIPPON UNIVERSITY

**インドネシア現地政治経済事情講演会
プラボウォ政権をどう見るか
ージョコウィ政権からの継承と刷新ー**

経済成長著しいインドネシア共和国「ものづくり」の要。愛知の産業は密接であり、地元企業の開拓への関心は高くなっています。今年度は10月にスタートしたプラボウォ新政権について、の分析を行います。

日時：2024年12月6日（金）
18:00～20:00（開場 17:30）

場所：愛知県立大学サテライトキャンパス（オンライン併用）
（名古屋市中村区名駅4丁目4-38 ワインクあいち15期）

定員：対面35名/オンライン300名（いずれも先着順）

講師：松井グローバル合同会社代表
アジア経済研究所 元主任研究員 松井 和久 氏

司会・コメント：小座野 八光（愛知県立大学）

【申込方法】いずれかの方法でお申込みください。（申込締切12月3日（火）17:00迄）
①オンラインコード：または下記のアドレスよりお申し込みください。
<https://www.burakidhpu.ac.jp/renkei/>（会員登録が必要、申し込みを納められます）
②FAX
③インターネットお申し込み用紙（別添付）FAXでも申込み可（送付先）
④⑤⑥⑦【申込方法】【電話申込】【FAX申込】を記載し、FAX0663-1494-1104にお送りください。

【共催】東南アジア学会 【お問い合わせ】
愛知県立大学（地域連携センター） 愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
メール：renkei@burakidhpu.ac.jp

※状況により、配信・申し込みはオンライン機能のみ変更する場合があります。最新情報はWebサイトにてご確認ください。

スペイン語・ポルトガル語圏専攻公開講座
「サンパウロ市におけるジェンダーの不平等とインターセクショナルリティ
—都市、環境と社会問題—」

1. 申請者：渡会 環（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語・ポルトガル語圏専攻 准教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語・ポルトガル語圏専攻／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 12 月 18 日（金） 10：30～12：00
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール／オンライン
5. 講師：Luciana Fukimoto Itikawa 氏（サンパウロ大学高等研究所 研究員）
6. 参加者数：83 名（会場 53 名、オンライン 30 名）

【概 要】

本講座では、都市計画を専門とするイチカワ氏が、ブラジル・サンパウロ市を取り上げ、自然環境、都市化、暴力、居住、就労、健康の各指標を用いながら、サンパウロ市の女性が「人種」や「社会階層」について、どのような影響を受け、それらを彼女たちがどう理解しているのか、同氏が提案するジェンダーの不平等マップの説明を行った。

講演は、逐次通訳や日本語の資料提示を交えながらポルトガル語で行われた。

【講座の様子】



【チラシ】

愛知県立大学
Aichi Prefectural University

主催：愛知県立大学
（外国語学部・ポルトガル語圏専攻・地域連携センター）

2024
12/18
10:30～12:00

サンパウロ市における
ジェンダーの不平等と
インターセクショナルリティ
都市、環境と社会問題

Designações e Interseccionalidades
de Género no Município de São Paulo:
questões urbanas, ambientais e sociais

講師
Luciana Fukimoto Itikawa
サンパウロ大学高等研究所 研究員

会場
（愛知県立大学長久手キャンパス）多目的ホール

定員
● 対面（定員100名）
● オンライン（定員300名）

参加費
無料（会場参加費は別途あり）

申込方法
QRコードから申し込み

申込期間
11月18日（月）～11月25日（月）

申込方法
QRコードから申し込み

申込期間
11月18日（月）～11月25日（月）

「もっと知りたいインドネシア語講座(初～中級)」

1. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 1 月 28 日（火）～31 日（金） 18：00～20：00
4. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 文化交流室 B
5. 講師：高地 薫 氏（神田外語大学外国語学部 准教授）
6. 参加者数： 77 名

【概 要】

本講座は、4 日間連続講座として、インドネシア語を、様々なビジネスや観光の際など、展開し使用できるように基礎を中心に学んだ。講座は、高地氏が作成した教科書を使用し、講座内では発音などを中心に、練習問題の解答を翌日配布する形で行われた。

【配布した教科書】



【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業公開講座

受講料
無料

もっと知りたい インドネシア語講座

(初～中級)

経済成長著しいインドネシアと「ものづくり県」愛知の関係は深く、企業も高い関心を寄せています。本講座では、様々なビジネスシーンや、観光で訪れる際など、受講者のニーズに合わせてさらに展開させられるよう、インドネシア語の構造を基礎から集中的に学びます。

■日時 2025年1月28日(火)～31日(金)
18：00～20：00
※4日連続の集中講座です。

■定員 35名
定員になり次第締切

■場所 愛知県立大学 学術文化交流センター（K棟）
【交通アクセス】東部丘陵線（リニモ）「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩5分

■講師 高地 薫 氏（神田外語大学 外国語学部 准教授）

■コーディネーター 愛知県立大学 外国語学部 准教授 小座野 八光

【申込締切】：2025年1月25日（土）まで

【申込方法】：下記URL、もしくは右のQRコードよりお申し込みください。

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkes/forregionalalliances/0014444.html>

※例により、退席・中止またはオンライン開催に変更することがあります。詳細はWEBサイトにてご確認ください。

【主催】愛知県立大学 地域連携センター
【問い合わせ】愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
メール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

「第7回 国際セミナー 2025年、世界の展望」

1. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 2 月 14 日（金） 18：00～20：00
4. 会場：オンライン
5. 講師：岩田 仲弘 氏（中日新聞国際部 部長）
竹田 佳彦 氏（中日新聞国際部）
ボグダン パブリー 氏（富山国際大学現代社会学部 准教授）
高岡 豊 氏（東京外国語大学 非常勤講師）
町田 花里奈（愛知県立大学外国語学部 准教授）
6. 参加者数：110 名

【概要】

今回は「2024年の回顧と2025年の展望—トランプ再来と世界—」をサブテーマに、アメリカ、ヨーロッパ、ウクライナ、中東、中国の専門家による講演が行われた。

【チラシ】

第7回 国際セミナー
2025年、世界の展望
2024年の回顧と2025年の展望—トランプ再来と世界—

2024年の国際情勢を振り返り、2025年の世界を展望します

講師

- 岩田 仲弘 氏**（中日新聞 国際部部長）
「アメリカ第一～歴史は繰り返すのか」
- 竹田 佳彦 氏**（中日新聞 国際部）
「欧州の極右は米国の第一の再来をどう受け止めるのか」
- ボグダン パブリー 氏**（富山国際大学現代社会学部 准教授）
「ウクライナの現状：メディアや社会における変化」
- 高岡 豊 氏**（東京外国語大学 非常勤講師）
「パレスチナ、レバノン、シリアの紛争と再編」
- 町田 花里奈**（愛知県立大学外国語学部 准教授）
「コロナ以降の中国社会の変化と今後」

【コーディネーター】奥野 良知（愛知県立大学外国語学部 教授）

開催日時
2025年2月14日（金）18:00～20:00

開催方法
オンライン開催（Zoomウェビナー）

申込方法
愛知県立大学 地域連携センターWebサイト
(<https://www.buraichi-pu.ac.jp/interact/index.html>)
または左記二次元コードからアクセスし、お申し込みください。

お問合せ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課
E-mail: renkei@buraichi-pu.ac.jp
主催：愛知県立大学地域連携センター

無料
定員500名

【講座の様子】



「2024 年度第 2 回 愛知県立大学 世界史セミナー
20 世紀ドイツにおける戦争障害者支援の一側面－盲導犬の活用」

1. 申請者：久田 由佳子（愛知県立大学外国語学部英米学科 教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学世界史研究会／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 2 月 22 日（土） 16：00～18：00
4. 会場：愛知県立大学サテライトキャンパス
5. 講師：北村 陽子 氏（東京大学大学院人文社会系研究科 准教授）
6. 参加者数：25 名

【概 要】

北村氏を講師に迎え、2 つの大戦にまたがる文書館史料から読み解いた盲導犬の歴史について解説していただいた。

戦争により、多くの視覚障害者が生まれ盲導犬のニーズが高まったことから、戦場犬が盲導犬として再訓練されて殺処分を免れたこと、ナチス・ドイツでの戦争障害者の扱われ方、第 2 次大戦後の東西ドイツでは戦争障害者の扱いが異なることなど、多くの興味深い事実が明らかにされた。

【講座の様子】



【チラシ】

2024年度 第2回愛知県立大学世界史セミナー 愛知県立大学
世界史研究会・地域連携センター

「20世紀ドイツにおける戦争障害者 支援の一側面－盲導犬の活用」

第一次世界大戦は、多くの新兵器が投入された戦争でした。赤十字もその一つで、それによって多くの兵士が戦争被害者となって避難しました。彼らの生活を支える一つの方法として、ドイツでは戦場で負傷した兵士を支援するために盲導犬を育成し、活用されることとなりました。本セミナーでは、世界大戦の時代にドイツで盲導犬がどう発展し、活用されたかをお話しします。



講師：北村 陽子（東京大学大学院人文社会系研究科 准教授）
司会：久田 由佳子（愛知県立大学外国語学部 教授）

■日時：2025年2月22日（土）16:00～18:00（開場15:30）

■場所：愛知県立大学サテライトキャンパス（定員35名）
（名古屋市中区栄4丁目4-38 ウイングス45号）
【アクセス】近鉄名古屋線栄4丁目駅より徒歩5分

参加費無料

【申込方法】 申込締切日：2月19日（水）
愛知県立大学 地域連携センター Webサイト
の申し込みボタンから申し込みください。
<https://www.buraiche-pu.ac.jp/renkei/>
（定員に達した時点で申し込みを締め切ります。）

【問い合わせ】 愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
メール：renkei@buraiche-pu.ac.jp

※（仮定）により、変更の恐れがあります。最新情報はWebサイトで確認ください。

（５）地域貢献活動

愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」

1. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」実行委員会／
地域連携センター）
3. 開催日時：令和 6（2024）年 11 月 12 日（火）～12 月 3 日（火）
4. 会場：リニモテラス公益施設（愛知県長久手市、リニモ「長久手古戦場」駅前）

【概 要】

愛知県立大学外国語学部国際関係学科は、特色ある行事として、毎年秋に「旅の写真展」を開催している。留学や調査、旅行で多くの国々を訪れる学生たちが、自慢の写真を持ち寄り、写真を展示する。写真展は 2011 年秋に始まり、今年で発足から 13 年となった。これまでの累計作品数は計 1,122 点に上り、撮影地は世界 84 の国・地域に及ぶ。今年度は、身近な風景の中から魅力的な被写体を見付けるフィールドワーク実習（撮影会）を行い、また、学生各自が各地で撮影してきた作品も持ち寄ることで、27 人による 13 の国・地域で撮影された作品 76 点を展示することができた。

【会場の様子】



※写真はいずれも、2024 年 11 月、会場にて主催者撮影

(6) リカレント研修講座

愛知県立大学リカレント教育事業

「医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修」

愛知県立大学では、デジタル技術を駆使しながら医療・教育福祉現場の課題を明確にし、多職種連携を図りつつ課題解決に向けて現場に変革をもたらすことができるエキスパート人材の育成研修プログラムとして、

【コースA】「医療分野に強いスクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーの育成」

【コースB】「医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成」

の2つのコースを開講している。

2024年度はコースA38名、コースB50名の計88名の受講申込があった。

【チラシ】

愛知県立大学 リカレント教育事業

医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修

2024年度受講者大募集!

愛知県立大学では、デジタル技術を駆使しながら医療・教育福祉現場の課題を明確にし、多職種連携を図りつつ課題解決に向けて現場に変革をもたらすことができるエキスパート人材として、
【コースA】「医療分野に強いスクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーの育成」
【コースB】「医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成」
の2つのコースを開講します。

コースA 「医療分野に強いスクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーの育成」

対象者 ・これからスクールソーシャルワーカーとして働きたい方（社会福祉士・精神保健福祉士資格保有者、教員、保育士、看護員・保健師）
・スクールソーシャルワーカーの経験が深く力量を高めたい方、さらにスーパーバイザーを目指す方
・医療・福祉分野の知識や視点を学んで、実践力を高めたい学校教員の方

受講期間 2024年8月～2025年2月（予定）※受講プランにより異なります。

受講方法 オンデマンド動画視聴による講義＋一部対面による演習あり

受講プラン

プラン名	定員	受講料	受講方法	総受講時間
A-I 「スクールソーシャルワークの理論と実践方法」（履修証明プログラム）	10名程度	48,000円	オンデマンド視聴	60時間
A-II 「スクールソーシャルワークの応用」	10名程度（定員）	36,000円	オンデマンド視聴	24時間（標準）48時間
A-III 「デジタル医療・看護等の現場と対応」	なし	20,000円	オンデマンド	24時間
A-IV 「学校現場での実践・支援のあり方」	なし	4,500円	オンデマンド	1セッション
A-V 「スクールソーシャルワークの事例研究」	10名程度（定員）	6,000円	対面	4時間
A-VI 「教職キャリア分野でのスクールソーシャルワーク」	10名程度（定員）	6,000円	対面	6時間
A-VII 「教職キャリア分野でのスクールソーシャルワーク」	なし	6,000円	オンデマンド	4時間

※受講料は、A-IからA-VIまで受講した受講料を算出した上で算出されています。

申込
A-I 「スクールソーシャルワークの理論と実践方法」（履修証明プログラム）6月上旬 申込受付開始
A-II～VII 7月上旬 申込受付開始

申込期間等詳細は、愛知県立大学リカレント教育事業ウェブサイト
(<https://www.aichi-pu.ac.jp/recurrent/>) でご確認ください。

愛知県立大学
Aichi Prefectural University

愛知県立大学リカレント教育事業担当
メール: recurrent-edu@pu.aichi-pu.ac.jp

愛知県立大学 リカレント教育事業

医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修

2024年度受講者大募集!

愛知県立大学では、デジタル技術を駆使しながら医療・教育福祉現場の課題を明確にし、多職種連携を図りつつ課題解決に向けて現場に変革をもたらすことができるエキスパート人材として、
【コースA】「医療分野に強いスクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーの育成」
【コースB】「医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成」
の2つのコースを開講します。

コースB 「医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成」

対象者 病院等の医療現場において、良質な医療を提供するための変革者として役割を担う、あるいは目指している看護管理者の方、またはミドルリーダーの方
実証現場での課題解決の手法が学べる内容です。実践をより良くしたいと考えている方、是非ご参加ください。解決の糸口が見つかります。

受講期間 2024年10月～2025年2月（予定）※受講プランにより異なります。

受講方法 オンデマンド動画視聴による講義＋一部対面による演習あり

受講プラン

プラン名	定員	受講料	受講方法	総受講時間
B-I 「看護の現場を支えるクオリティ・マネジメントリーダー」	20名程度（定員）	30,000円	オンデマンド視聴	21時間
B-II 「ITコマでわかる看護の現場を支えるデジタル医療」	なし	7,500円	オンデマンド	5時間
B-III 「ITコマでわかる看護の現場を支える看護管理と人材育成」	なし	7,500円	オンデマンド	5時間

申込
9月上旬 申込受付開始

申込期間等詳細は、愛知県立大学リカレント教育事業ウェブサイト
(<https://www.aichi-pu.ac.jp/recurrent/>) でご確認ください。

愛知県立大学
Aichi Prefectural University

愛知県立大学リカレント教育事業担当
メール: recurrent-edu@pu.aichi-pu.ac.jp

5. 地域連携センター守山支部の活動状況

地域連携センター守山支部の活動状況

地域連携センター守山支部は、主に守山キャンパスにおける地域連携活動や生涯学習事業に関する業務を行うことにより、地域連携・地域貢献を推進することを目的としている。その目的を達成するために、次の3つの事業を実施する。

1. 看護職を対象とした教育、研究指導及び情報発信に関すること
2. 地域の健康維持・増進のための連携・支援に関すること
3. その他 地域連携センター守山支部長が適当と認めた業務

1. 看護職教育・研究支援事業

1) 事業の目的

看護職を対象として、「実践」を中核としたセミナー等を開催し、看護継続教育、看護職への研究指導、情報発信等を行なうことにより、地域における看護実践水準の向上を図るとともに、本学の地域連携事業の一翼を担う。

2) 受講者の受け入れ

プログラムの内容に応じて受講資格、受講定員数を明示して募集を行った。募集内容は看護実践センターホームページに掲載するとともに、一般看護職を対象としたセミナーでは東海4県50床以上および東海4県以外100床以上の病院1,800医療施設に、セミナーごとに作成したチラシを5・6月、8・11月、12・2月に各々まとめて3月、6月、9月に郵送した。対面で実施する8・10月のセミナーは、東海4県50床以上の605医療施設に5月末にチラシを郵送した。

認定看護師・専門看護師フォローアップセミナーでは、がん化学療法看護、がん性疼痛看護認定看護師がん看護専門看護師、等が所属する全国の1,937医療施設にチラシを7月に郵送した。本学修了生437名（希望者）にもメールで周知した。

3) セミナーの開催実績

令和6年度に開催した看護職対象のセミナーの実績を表V-1-1、1-2に示す。

1講座に対して2～3人の委員が担当し、企画、チラシ作成、講師との調整、アンケートの評価項目の検討、資料の確認、司会進行、アンケートのまとめ・報告等を行った。また、セミナー後には、著作権などの問題がないかを確認のうえ、オンデマンド動画を配信し、約2週間視聴できるようにした。

一般看護師を対象としたセミナー8講座を企画・運営した。内訳は看護研究セミナー4講座、看護管理セミナー2講座、看護実践セミナー2講座であり、合計1,833名（昨年1,541名/10講座）、定員に対して121.4%が申込・入金をした。

認定看護師・専門看護師フォローアップセミナー1講座、認定看護管理者・看護管理者セ

ミナー1講座を企画・運営し、各々452名（昨年450名）、156名、合計608名（定員に対して93.5%）が申込・入金をした。

10講座の申込者の合計は、**2,441名**（昨年2,130名）であり、そのうち本学看護学研究科・認定看護師教育課程修了生175名（昨年204名）の申込みがあった。また、その他、看護学部教職員27名、博士前期課程学生24名、博士後期課程学生3名の参加があった。セミナーによる収入は**8,454,400円**（昨年7,779,200円）であった。

表 V-1-1 令和6年度セミナー企画（一般看護職対象）

	開催日	講 座 名	定員	受講料 講義時間	R5 参加	申込 数	参加 者数	充足率	受講 証	動画 視聴
No			n		n	n	n	%	n	n
1	5月24日(金) 9:30～15:00	看護研究スキルアップ基礎講座① 「看護研究の基礎的知識」 講師：神谷摂子教授 「看護研究における倫理と手続き」 講師：佐藤美紀准教授 「看護研究における文献検索」 講師：宇城令准教授	240	4,800円 3時間 50分	247	321	309	133.8	300	176
2	6月14日(金) 10:00～12:00	看護研究スキルアップ基礎講座③「量的研究入門」 講師：河村諒准教授	200	2,400円 2時間	207	323	305	161.5	297	53
3	6月14日(金) 13:30～15:30	看護研究スキルアップ基礎講座②「質的研究入門」 講師：神谷摂子教授	200	2,400円 2時間	206	333	315	166.5	305	50
4	8月20日(火) 13:00～16:30	看護研究実践講座 「日々の疑問を研究計画へ(初級実践編):看護研究に初めて取り組む方のための演習」 講師：藤野あゆみ教授	20	4,800円 3時間 30分	14	14	14	70.0	14	—
5	8月31日(土) 9:30～12:00	「医療メディエーションの理論と技法 コンフリクト・マネジメントをもとに」 講師：森田恵美子先生 (愛知県看護協会 常務理事)	300	3,600円 2時間 30分	248	317	302	105.7	292	81
6	10月12日(土) 10:00～12:30	「急変時の対応：ここをみる！そして、こうする」(ラダーⅠ,Ⅱ対象) 講師：濱本実也先生 (公立陶生病院 集中ケア認定看護師)	150	3,600円 2時間 30分	88	72	70	48.0	68	—
7	11月2日(土) 11:00～16:30	「看護を取り巻く制度の動向を理解し、看護現場に活かす」 講師：齋藤訓子先生 (関東学院大学教授)	100	6,000円 4時間30分	80	81	79	81.0	77	29
8	12月14日(土) 10:00～12:00	「チームで進めるACP」 講師：森 雅紀 先生 (聖隷三方原病院 緩和支援診療科部長)	300	2,400円 2時間	362	372	346	124.0	339	41
		合計	1510		1452	1833	1738	121.4	1692	430

表 V-1-2 令和6年度セミナー企画(認定看護師・専門看護師・認定看護管理者対象)

	開催日	講 座 名	定員	受講料 講義時間	申込 数	参加者 数	充足率	受講証	動画 視聴
No			n		n	n	%	n	n
9	9月29日(日) 10:00～15:00	認定看護師・専門看護師対象セミナー 「患者の尊厳と安全を守るケアの実践:～理論に基づく病院における身体拘束低減化の取り組み～」 講師:佐藤晶子 先生 (総合病院 聖霊三方原病院 看護部課長 老人看護専門看護師)	400	4,800円 4時間	452	439	113.0	426	95
10	2月1日(土) 9:30～12:30	認定看護管理者・看護管理者・看護職者対象セミナー「トップマネージャーが切り開く病院経営」 講師:浅香えみ子先生 (東京医科歯科大学病院 副院長 看護部長)	250	3,600円 3時間	156	146	62.4	143	61
		合計	650		608	586	93.5	569	156

* 参加者数は教職員、大学院生を除いた数を示す。
受講証は一定時間アクセスして受講した方に「受講証明証」を発行した数を示す。

4) 受講者の概要とオンライン及び対面でのセミナー

(1) 受講者の概要

表 V-1-1 に示すとおり一般看護職を対象とした講座の受講者(申込者)総数は1,833名で定員の121.4%であった。看護研究に関する講座(No.1～4)の受講数は、昨年度よりさらに受講生が増加し、定員に対して70.0～166.5%であった。また、看護管理に関する講座(No.5、7)の受講数は定員に対して81.0～105.7%、看護実践に関する講座(No.6、8)の受講数は定員に対して48.0～124.0%であった。対面で行った講座(No.4、6)は定員に対して48.0～70.0%とオンラインセミナーよりも少なかった。

オンデマンド配信のアクセス数は、平均71.7回(29～176回)であり、昨年度のアクセス数(平均85.1回)より減少していた。

受講者の内訳は表 V-1-3 のとおりである。受講者は、役職別でみるとスタッフが51.3%と多く、次いで主任級であった。年齢別でみると40・50歳代の看護師が65.5%を占め、居住地は東海4県が30.0%と最も多く、次いで近畿(16.3%)、関東(16.1%)からの参加が多く、全都道府県からの参加があった。

表 V-1-2 に示すとおり認定看護師・専門看護師・認定看護管理者を対象とした講座の受講者(申込者)総数は608名で、定員に対して93.5%であった。オンデマンド配信のアクセス数は、平均78.0回であった。

受講者の内訳は表 V-1-4 のとおりである。受講者を役職別でみると主任級が30.6%と多く、次いでスタッフであった。年齢別でみるとは40・50歳代が86.8%を占め、居住地は東海4県が25.1%、次いで関東(25.0%)、近畿(16.3%)からの参加が多く、全都道府県

からの参加があった。認定看護師の専門領域は、がん性疼痛看護、緩和ケア、がん化学療法看護の順に多かった。

表 V-1-3 一般看護職対象セミナー受講者の概要

		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	合計	%
	定員	240	200	200	20	300	150	100	300	1510	100
	申込者数	321	323	333	14	317	72	81	372	1833	121.4
居住地	愛知県	43	42	42	14	38	50	15	63	307	16.7
	岐阜県	10	10	11	0	27	12	2	11	83	4.5
	三重県	12	13	14	0	8	5	4	16	72	3.9
	静岡県	19	18	16	0	10	5	6	16	90	4.9
	北海道	24	25	22	0	15	0	2	20	108	5.9
	東北	39	37	42	0	16	0	4	24	162	8.8
	関東	33	46	48	0	78	0	21	69	295	16.1
	中部（愛知・岐阜・静岡除く）	18	17	20	0	22	0	2	36	115	6.3
	近畿（三重除く）	61	70	70	0	37	0	14	47	299	16.3
	中国	23	13	15	0	26	0	4	17	98	5.3
	四国	7	8	7	0	7	0	1	11	41	2.2
	九州・沖縄	32	24	26	0	33	0	6	42	163	8.9
年齢	10 歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	20 歳代	74	48	54	4	5	59	1	49	294	16.0
	30 歳代	61	69	69	2	30	5	6	54	296	16.1
	40 歳代	122	135	137	4	133	7	30	132	700	38.2
	50 歳代	59	68	68	3	132	1	42	127	500	27.3
	60 歳代以上	3	2	4	0	17	0	2	10	38	2.1
	不明	2	1	1	1	0	0	0	0	5	0.3
役職	部長級：看護部長・副看護部長	3	6	8	0	20	0	21	16	74	4.0
	師長級：看護師長・看護師長補佐・課長・課長補佐	36	42	41	1	121	0	30	77	348	7.2
	主任級：副看護師長・係長	80	82	88	3	95	2	15	81	446	24.3
	スタッフ	199	190	192	10	68	70	14	197	940	51.3
	その他	3	3	4	0	13	0	1	1	25	1.7
受講証の目的	資格更新	10	18	12	0	27	2	15	87	171	9.3
	勤務先に提出	226	232	245	9	203	55	46	213	1229	67.0
	受講証明書は不要	55	43	50	3	35	4	16	49	255	13.9
	その他	30	30	26	2	52	11	4	23	178	9.7

表 V-1-4 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者対象セミナー受講者の概要

		No. 9	No. 10	合計	%
	定員	400	250	650	100
	申込者数	452	156	608	93.5
居住地	愛知県	75	37	112	18.4
	岐阜県	13	1	14	2.3
	三重県	11	3	14	2.3
	静岡県	10	3	13	2.1
	北海道	23	6	29	4.8
	東北	20	6	26	4.3
	関東	112	40	152	25.0
	中部（愛知・岐阜・静岡除く）	28	11	39	6.4
	近畿（三重除く）	71	28	99	16.3
	中国	32	4	36	5.9
	四国	17	3	20	3.3
	九州・沖縄	40	14	54	8.9
年齢	20歳代	1	0	1	0.2
	30歳代	47	5	52	8.6
	40歳代	212	33	245	40.3
	50歳代	174	109	283	46.5
	60歳代以上	17	7	24	3.9
	不明	1	2	3	0.5
役職	部長級：看護部長・副看護部長	40	93	133	21.9
	師長級：看護師長・看護師長補佐・課長・課長補佐	62	46	108	17.8
	主任級：副看護師長・係長	174	12	186	30.6
	スタッフ	169	4	173	28.5
	その他	7	1	8	1.3
認定看護師	がん性疼痛看護	64		64	12.2
	緩和ケア	50		57	10.8
	がん化学療法看護	57		54	10.3
	その他	230		230	43.7
専門看護師	がん看護	11		11	2.1
	家族看護	0		0	0.0
	老人看護	7		7	1.3
	精神看護	4		4	0.8
	その他	0		0	0.0
認定看護管理者		9	90	99	18.8
受講証の目的	資格更新	402	60	462	78.2
	勤務先に提出	37	49	86	14.6
	受講証明書は不要	1	23	24	4.1
	その他	12	7	19	3.2

(2) 広報およびオンラインでのセミナー配信

表 V-1-5 のとおりオンラインセミナー8 講座ではチラシ・ポスターが 53.5%、職場の上司や同僚からの紹介が 41.1%であり、チラシの広報は効果があった。

セミナーは、講義棟 4 階看護実践センター室を配信場所として実施した。昨年度に引き続き Zoom のインストール方法や操作手順、資料のダウンロード方法を示した PDF を事前に受講生に送付した。また希望者に対して、事前に Zoom 接続テストを行い、8 講座で合計 52 名（11～30 名／1 講座）が利用し、回を重ねるごとに事前 Zoom 接続テストの人数が減少した。また、Zoom のインストール方法や操作手順は「わかりやすかった」が 79.6%（R5 は 75.6%）、音声の「不具合が特になかった」が 79.2%（R5 は 65.6%）、画面が「見やすかった」が 91.3%（R5 は 93.7%）であり、音声の不具合についても、特に問題はなかったといえる。配布資料の準備については「問題なくダウンロードできた」が 89.2%（R5 は 88.2%）と昨年度とほぼ変わらず準備ができていた。

表 V-1-5 オンラインセミナー広報の効果、オンライン環境など

	セミナーNo.	No. 1	No. 2	No. 3	No. 5	No. 6	No. 8	No. 9	No. 10	合計	%
	回答者数	142	110	109	100	329	52	205	100	1147	100
知ったきっかけ	チラシ・ポスター	67	51	45	92	124	42	134	59	614	53.5
	職場の上司や同僚からの紹介	80	56	55	39	140	16	68	17	471	41.1
	本学の看護実践センターのウェブサイト	3	3	6	8	72	10	33	9	144	12.6
	職場以外の知人・友人からの紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他	4	2	1	5	17	3	3	4	39	3.4
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

5) 一般看護職を対象とした各セミナーの実施状況と評価

開催日・講師・講座名は表 V-1-1 に、受講者の概要は表 V-1-3、各セミナーの満足度と活用度を表 V-1-6 に示す。

アンケートの回収率は、全体で 56.4%（33.1～100.0%）であった。

一般対象者を対象としたセミナー8 講座と認定看護師・専門看護師・認定看護管理者を対象としたセミナー2 講座、合計 10 講座全体では、講義内容の満足の度合いについて「①満足できた」が 68.0%、「②ほぼ満足できた」が 30.4%で合計 98.4%が満足することができていた。また、セミナーで学んだ内容を、今後の実践に活用できるかについて「①活用できる」が 55.5%、「②ほぼ活用できる」が 37.3%で合計 92.8%が今後の実践に活用できると回答した。

表 V-1-6 各セミナーの満足度と活用度（人数）

		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	合計	%
	参加者数	309	305	315	14	302	68	79	346	439	146	2441	
	回答者数	142	110	109	14	100	29	52	205	329	100	1190	
	回答率（%）	45.8	36.1	34.7	100.0	33.1	42.6	65.8	59.2	74.9	68.5	56.8	
満足 の 度 合 い	①満足できた	75	21	47	14	83	27	37	155	246	67	647	68.0
	②ほぼ満足できた	66	53	58	0	15	2	14	46	77	31	447	30.4
	③あまり満足できなかった	1	34	4	0	2	0	1	3	4	2	50	4.4
	④満足できなかった	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0.2
活用	①活用できる	60	27	39	12	56	25	28	113	229	43	438	55.5
	②ほぼ活用できる	77	51	59	0	43	4	22	80	93	52	619	37.3
	③あまり活用できない	4	27	11	0	1	0	2	9	7	5	78	5.4
	④活用できない	1	5	0	0	0	0	0	1	0	0	9	0.6
	無回答	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	5	1.5

(1)看護研究スキルアップ基礎講座①

- ・日時：令和6年5月24日（金）9:30～15:00 オンライン開催
- ・講師：「看護研究の基礎」：神谷摂子氏（愛知県立大学看護学部 教授）、「看護研究における倫理と手続き」：佐藤美紀氏（愛知県立大学看護学部 准教授）、「看護研究における文献検索」：宇城令（愛知県立大学看護学部 准教授）

【目的】看護研究に必要な用語を学ぶとともに、研究プロセスに必要な倫理的配慮と文献検討方法および研究計画書の書き方を理解し、今後の研究活動に役立てることができる。

【目標】「看護研究の基礎」：研究に必要な用語を理解できる。「看護研究における倫理と手続き」：看護研究を行ううえでの倫理原則や看護研究プロセスの各段階における研究倫理について理解できる。「看護研究における文献検索」：文献検索・文献検討の意義と方法について理解できる。

【チラシ】

（担当：西尾亜理砂、籠玲子、林恵里子）

【セミナーの様子】



(2) 看護研究スキルアップ基礎講座②「量的研究入門」

- ・日時：令和6年6月14日（金）10:00～12:00 オンライン開催
- ・講師：河村諒氏（愛知県立大学看護学部 准教授）

<企画の目的・目標>

量的研究の進め方や注意すべき点を知り、量的研究実施の意欲向上と苦手意識の軽減を図る。

【チラシ】



（担当：籠玲子、林恵里子、西尾亜理砂）

【セミナーの様子】



(3) 看護研究スキルアップ基礎講座③「質的研究入門」

- ・日時：令和6年6月14日（金）13:30～15:30 オンライン開催
- ・講師：神谷摂子氏（愛知県立大学看護学部 教授）

<企画の目的・目標>

質的研究とはどのようなものか、主な質的研究の種類と特徴を知ることができる。その中でも質的記述的研究に焦点をあて、そのプロセスと留意点を理解し、今後の研究活動に役立てることができる。

（担当：林恵里子、西尾亜理砂、箕浦哲嗣）

【セミナーの様子】



(4) 看護研究実践講座 対面セミナー

「日々の疑問を研究計画へ（実践編）：看護研究に取り組む方のための演習」

- ・日時：令和6年8月20日（火）13:00～16:30 守山キャンパス対面開催
- ・講師：藤野あゆみ氏（愛知県立大学看護学部 教授）

守山キャンパス講義室にて対面セミナーとして開催した。14名の参加者に対して、1～

2 名にインストラクター1 名がサポートを行い、研究計画書を作成する思考過程を細分化して一通り体験できるようにした。

<企画の目的・目標>

【目的】日々の研究疑問をもとに、研究計画書を作成する際の基本的な思考のたどり方を具体的に学ぶ。

【目標】研究疑問をもとに、研究目的、研究の意義、研究方法、倫理的配慮などについて考え、研究計画書を作成する。

(担当：加藤宏公、大原良子)

【チラシ】



【セミナーの様子】



(5)「医療メディエーションの理論と技法～コンフリクト・マネジメントをもとに～」

・日時：令和6年8月31日（土）9:30～12:00 オンライン開催

・講師：森田恵美子氏（公益社団法人日本看護協会 常任理事）

<企画の目的・目標>

医療メディエーションの理論と技法を学ぶことにより、日常のコンフリクトの予防や日々のコミュニケーションの向上に役立てることができる。

(担当：箕浦哲嗣、河邊紅美、成定明彦)

【チラシ】



【セミナーの様子】



(6)「急変時の対応～ここをみる！そして、こうする～（ラダーⅠ，Ⅱレベル）」

- ・日時：令和6年10月12日（土）10:00～12:30 守山キャンパス対面開催
- ・講師：濱本実也氏（公立陶生病院 看護師長 集中ケア認定看護師）

<企画の目的・目標>

患者の急変時において、臨床判断するために必要な観察、アセスメントの視点および基本的な対応方法を学ぶ。

（担当：大原良子、青柳美樹、加藤宏公）

【チラシ】



【セミナーの様子】



(7)「看護を取り巻く制度の動向を理解し、看護現場に活かす」

- ・日時：令和6年11月2日（土）11:00～16:30 オンライン開催
- ・講師：齋藤訓子氏（関東学院大学看護学部 教授）

<企画の目的・目標>

医療法、介護保険法、診療報酬・介護報酬など看護を取り巻く諸制度の動向から、制度の変化が看護現場にどのような影響を及ぼすのかその問題や対策、評価について学び、今後の看護管理および看護実践に役立てることができる。

なお、本セミナーは大学院「看護政策論」の受講指定セミナーである。

【チラシ】

（担当：籠玲子、宇城令、成定明彦）



【セミナーの様子】



(8)「チームで進めるACP」

- ・日時：令和6年12月14日（土）10:00～12:00 オンライン開催
- ・講師：森雅紀氏（総合病院聖隷三方原病院 緩和支援診療科 部長）

<企画の目的・目標>

緩和ケア研究や予後についての対話、そして日々臨床の場で行っているチームで取り組むACPについて学び、それぞれの施設でACPを行う手がかりを見出すことができる。

（担当：竹内佳見、河邊紅美、青柳美樹）

【チラシ】



【セミナーの様子】



6) 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者を対象としたセミナーの実施状況と評価

開催日・講師・講座名は表V-1-2に、参加者の概要は表V-1-4に示す。各セミナーの満足度と活用度を表V-1-6に示す。

(1) 認定看護師・専門看護師フォローアップセミナー

「患者の尊厳と安全を守るケアの実践～理論に基づく病院における身体拘束低減化の取り組み～」

- ・日時：令和6年9月29日（日）10:00～15:00 オンライン開催
- ・講師：佐藤晶子氏（総合病院聖隷三方原病院 看護部 課長）

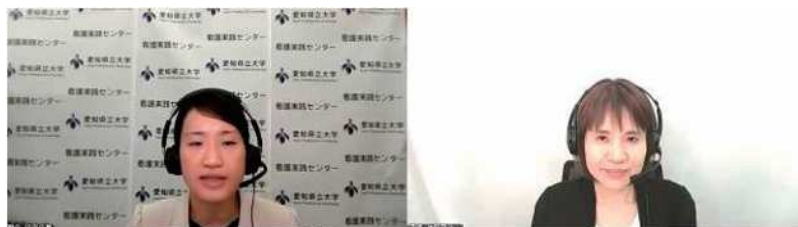
<企画の目的・目標>

患者個々に合わせた尊厳と安全を守るための具体的な看護ケアの実践を理解するとともに、理論に基づいた身体拘束低減化の具体的な方法を学ぶ。学んだ内容は、自施設に合わせて、身体拘束低減化に向けた取り組みに役立てることができる。

（担当：河邊紅美、竹内佳見、加藤宏公）

【チラシ】

【セミナーの様子】



(2) 認定看護管理者・管理者セミナー

「トップマネジャーが切り開く病院経営」

- ・日時：令和7年2月1日（土）9:30～12:30 オンライン開催
- ・講師：浅香えみ子氏（東京医科歯科大学病院 副院長 看護部長）

<企画の目的・目標>

医療情報の活用による看護職の業務効率化や人的資源管理を行いながら、病院経営の中で看護のあり方を推進してきたトップマネジャーの実際の取り組みを知り、病院経営について看護師の力をどのように発揮していくかを考える機会とするとともに、最新の管理手法を学ぶ。

（担当：宇城令、箕浦哲嗣、成定明彦）

【チラシ】

【セミナーの様子】



2. 地域連携事業

1) 子育て支援事業 子育てひろば「もりっこやまっこ」

(1) 事業の目的

地域連携センター守山支部の事業目的である地域の健康維持・増進のための連携・支援に関することの一環として子育て支援事業を行い、周辺地域の子育て支援の充実に寄与する。

(2) 参加者の受け入れ方針と登録制度

【対象】0～3歳の未就園児とその保護者

【登録】本事業では、参加者の登録制度を採用し、初回参加時に保護者に以下の内容を文書と口頭で説明し、同意を得た上で参加登録を依頼している。

- ① 事業の方針および大学施設の規則を遵守すること。
- ② 本学の教育活動として、自由ひろばに学生が参加すること又は健康教室（育児講座）をウィメンズヘルス・助産学専門分野在籍の大学院生が実施すること。
- ③ 大学院生や教員が行う研究に対し、参加者の同意を得た上で、協力を求めることがあること。
- ④ 子どもから常に目を離さず、けんかや危険な遊びをしている時には、自分の子どもかどうかに関わらず声をかけあい、事故防止に努めること。
- ⑤ おもちゃや本の取扱に注意し、ごみを持ち帰るなど他の参加者や今後のひろば運営に配慮をお願いしたいこと。

【参加費】無料とし、法人予算によって運営する。

【募集】看護実践センターホームページにより開催予定を周知するほか、チラシを登録者及び学外（近隣の連携施設）に配布して、広く募集する。

(3) 子育てひろば「自由ひろば・サロン」の運営方法

本事業の運営にあたっては、安全で円滑な運営となるように、「管理マニュアル」「各担当マニュアル」「当日マニュアル」等を整備し、各担当者の役割を明確にするとともに、衛生管理、事故防止、不審者対策、災害発生時の対応、個人情報管理、事故および安全管理について手順を定めて実施した。また、自由ひろばでの救急時に備えて、応急手当物品、BLSのポスター等を整備している。

(4) 事業計画・開催実績

表 V-2-1 のとおり令和6年度、前期は、自由ひろばを定員60組、事前予約制で、後期は定員や事前予約制をなくし（新規登録者の事前登録とサロンのみ事前予約制とした）、前期7回、後期5回（小サロンあり9回）、合計12回を計画した。

表 V-2-1 令和6年度「子育てひろば」の内容と申込、参加者数

回	開催日		サロンの 内容	講師 敬称略	サロンの 対象	定員	担当 教員	申込 組	参加 組
1	5月9日 (木)	自由 ひろば			3歳までの 子ども・保護者	60 組	神谷 汲田	34	32
2	5月16日 (木)	自由 ひろば	ヨガ	はしもと かおり	3歳までの 子ども・保護者	60 組	汲田 清水	39	31
3	5月23日 (木)	自由 ひろば	リトミック	浅野加織	3歳までの 子ども・保護者	60 組	近藤 足立	34	29
4	5月30日 (木)	自由 ひろば	ヨガ	はしもと かおり	3歳までの 子ども・保護者	60 組	中井 清水い	46	38
5	6月6日 (木)	自由 ひろば	健康教育	助産師 コース 大学院生	生後4か月～ 2歳までの兄の 保護者	60 組	勝村 神谷	26	17
6	6月13日 (木)	自由 ひろば	リトミック	浅野加織	3歳までの 子ども・保護者	60 組	近藤 三浦	43	39
7	6月20日 (木)	自由 ひろば	健康教室	助産師 コース 大学院生	1歳6か月～3歳 未満の兄の 保護者	60 組	清水い 足立	17	16
8	6月27日 (木)	小サロン	離乳食 交流会	(株)江崎 グリコ	3歳までの 子ども・保護者	10 組	三浦 清水い	8	7
9	7月4日 (木)	小サロン	ベビー マッサージ	富田 美智代	2-6か月までの 子ども・保護者	10 組	足立 賀沢	10	8
10	7月11日 (木)	小サロン	ベビー マッサージ	富田 美智代	2-6か月までの 子ども・保護者	10 組	勝村 中井	8	7
11	10月10日 (木)	小サロン	ベビー マッサージ	津田 佐貴子※	2-6か月までの 子ども・保護者	10 組	賀沢 神谷	8	7
12	10月17日 (木)	自由 ひろば	ヨガ	はしもと かおり	3歳までの 子ども・保護者	なし	津田 勝村	－	43
13	11月14日 (木)	小サロン	ベビー マッサージ	津田 佐貴子※	2-6か月までの 子ども・保護者	10 組	勝村 神谷	14	12
14	11月21日 (木)	自由 ひろば	ヨガ	はしもと かおり	3歳までの 子ども・保護者	なし	糟谷 津田	－	47
15	12月19日 (木)	自由 ひろば	クリスマス 会	とよた かおり	3歳までの 子ども・保護者	なし	汲田 中井	－	97
16	1月16日 (木)	自由 ひろば	ママの運動	三浦康平※	3歳までの 子ども・保護者	なし	賀沢 近藤	－	43
17	2月20日 (木)	自由 ひろば	鍼灸の話	杉浦雄	3歳までの 子ども・保護者	なし	勝村 曾田 津田	－	57
				※学内講師			合計		530

小サロンは、定員を10組、事前予約制とし、前期3回、後期2回、合計5回実施した。子育てひろば内でのサロンは、定員を10組～25組程度とし、ヨガ、ベビーマッサ

ージ、リトミック、ママの運動、鍼灸のお話、健康教室等を計画・実施した。クリスマス会は定員を設けなかった。

2 回分ごとに企画をまとめ、WEB サイトで申込みができるようにした。表 V-2-1 のとおり 17 回開催し、参加者は 530 組であった。自由ひろばの定員を前期は 60 組としていたが、予約後のキャンセルが多いことや、利用する保護者の負担を軽減するために、後期からは事前予約制をなくして開催した。前期は、近隣の子育てイベントと重なったときに参加者が減少したが、それ以外は 30 組前後、後期は 40～50 組が参加し、12 月のクリスマス会開催日については、100 組近くの参加があった。

表 V-2-2-1 令和 6 年度「子育てひろば」の参加者概要

回数	サロン内容	定員	サロン定員	申込組	参加組	参加組		定員割合%	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	子ども合計	サロン参加	定員割合%
						新規	会員								
1	なし	60	—	37	32	5	27	53.5	3	13	16	0	32	—	—
2	ヨガ	60	25	39	31	8	23	51.7	12	13	7	0	32	20	80.0
4		60	25	46	38	13	25	63.3	12	17	10	0	39	23	92.0
12		—	25	—	43	17	26	—	19	15	13	0	47	20	80.0
14		—	25	—	47	13	34	—	11	21	17	0	49	23	92.0
3	リトミック	60	25	34	29	11	18	48.3	9	14	8	0	31	23	92.0
6		60	25	43	39	11	28	65.0	16	14	12	0	42	28	112.0
9	ベビーマッサージ	10	10	10	8	2	6	80.0	8	0	0	0	8	8	80.0
10		10	10	9	7	3	4	70.0	7	0	0	0	7	7	70.0
11		10	10	8	7	3	4	70.0	7	0	1	0	8	7	70.0
13		10	10	14	12	7	5	120.0	13	0	1	1	15	12	120.0
5	健康教室	60	12	26	29	3	26	28.3	1	7	9	0	17	10	83.3
7		60	10	17	16	8	8	26.7	5	8	3	0	16	10	100.0
8	離乳食交流会	10	10	8	7	1	6	70.0	7	0	0	0	0	0	70.0
15	クリスマス会	—	—	—	97	32	65	—	32	36	40	3	111	—	—
16	ママの運動	—	—	—	43	9	34	—	18	18	11	2	49	19	—
17	鍼灸の話	—	—	—	57	6	51	—	11	28	19	5	63	20	—
合計		—	—	—	530	154	376	112.8	191	204	167	11	573	235	—

自由ひろばの定員に対する参加率は、第 5 回自由ひろば（健康教育）、第 7 回の自由ひろば（健康教育）が各々 28.3%、26.7%と低いが、それ以外は 48.3～120.0%であった。参加率が低い回は、近隣での子育てイベントが同日に開催された回であった。自由

ひろば開催時の小サロンへの参加率は76.0～110.0%、定員がある小サロンの定員に対する参加率は70.0～120.0%であった。

(5) 参加者概要

参加530組(R4:484組)のうち新規登録者は154組(22.3%)であり、平成29年～令和元年の平均231組/年と比較すると少ないが、昨年度の108組と比較すると増加していた。

表V-2-2-1のとおり、子どもの参加はのべ合計573名(R5:507名)であり、年齢は、0歳が191名(33.3%、R5:38.5%)、1歳が204名(35.6%、R5:46.0%)、2歳が167名(29.1%、R5:14.8%)、3歳が11名(1.9%、R5:0.6%)で、0～1歳児が多かった(図V-2-1-1)。また、昨年度と比較して2歳児が増加し、会員となり継続して参加していることが窺えた。

また、参加した保護者は母親が97.0%で最も多かったが、父親の参加(2%)もあった(図V-2-1-2)。アンケート回答者の居住地(表V-2-2-2)は、守山区志段味地区が最も多かった。その他、近隣の市町村からの参加もあった。

図 V-2-1-1 令和6年度「子育てひろば」参加した子どもの年齢分布

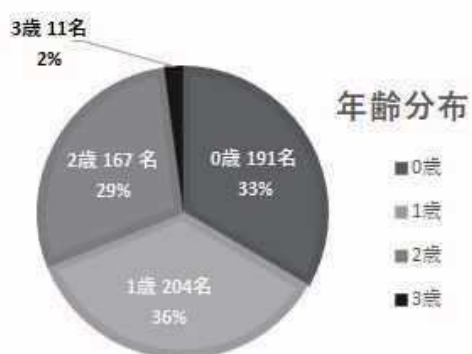


図 V-2-1-2 令和6年度「子育てひろば」参加した保護者の分布



表 V-2-2-2 令和 6 年度アンケート回答者の居住地

地区	組数
守山区志段味地区	48
春日井市	8
尾張旭市	1
瀬戸市	5
守山区（志段味地区以外）	5
それ以外（熱田区、北区、豊田市）	3
計	70

(6) 学生の参加状況

表 V-2-3 のとおり、学生の参加は、前期は学部学生の「母性看護学実習」および大学院生の「高度実践実習」の一環として、また、後期は、大学院生の演習・授業として参加した。

表 V-2-3 令和 6 年度 学生の参加状況（実習・授業・ボランティア）

内容	学部 4 年生 母性看護学実習	大学院 (ウィメンズヘルス助産学)	ボランティア
開催時期			
前期（5 月～7 月）	10 回	健康教育 2 回	なし
後期（10 月～2 月）	なし	演習・授業 2 回	2 名

(7) 広報

「もりっこやまっこ」のホームページの内容等を見直し修正し、自由ひろば、小サロン開催の案内を掲載した。3 か月ごとに企画をまとめてチラシを作成し、守山保健センター志段味分室、守山区役所、志段味図書館、春日井市役所、近隣の産院、保育園、商業施設等に送付した。さらに、2024 年 4 月時点での登録者 164 名（昨年度より 53 名増加）と新規登録者をメーリングリストで管理し、3 か月ごとに企画のチラシをメールで送付した。名古屋市守山区子育て情報サイトの子育てカレンダー、春日井の子育て情報発信サイト（春日井ハッピーマムズ）にも開催日等の掲載を依頼した。

(8) 子育てひろばの実施状況と評価

① 自由ひろばの開催状況

< 企画の目的 >

未就園児とその保護者が気分転換を図り、保護者同士、子ども同士が気軽に交流できる機会、子育てに関する専門職との相談の機会等を図る。

< 開催計画および実施状況 >

表 V-2-1 のとおり合計 12 回開催し、そのうちサロンを組み入れた自由ひろばは 9 回開催した。詳細は(9)子育てひろば参加者の声を参照。

表 V-2-4 令和6年度サロン「ヨガ・リトミック・健康教室・クリスマス会・ママの運動・鍼灸のお話」のアンケート結果概要

回数	2	4	12	14	3	6	5	7	15	16	17
サロンの内容	ヨガ				リトミック		健康教室		クリスマス会	ママの運動	鍼灸のお話
サロンの定員	25	25	25	25	25	25	12	10			
サロン参加者	20	23	20	23	23	28	10	10		31	25
定員に対する参加率 %	80.0	92.0	80.0	92.0	92.0	112.0	83.3	100.0			
サロン参加者の回答数	14	17	18	23	14	25	8	10	66	16	14
サロン参加者の回収率 %	70.0	73.9	90.0	100.0	60.9	89.3	80.0	100.0		51.6	56.0
【満足度】											
満足	9	15	12	16	12	18	6	10	50	14	10
ほぼ満足	4	2	6	6	2	5	2	0	14	2	4
どちらともいえない	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
やや不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
【役立ち度】											
役立つ	7	13	10	14	10		6	13	32	12	11
ほぼ役立つ	6	3	8	7	3		2	2	22	4	2
どちらともいえない	1	0	0	2	1		0	0	11	0	1
あまり役に立たない	0	1	0	0	0		0	0	1	0	0
役立たない	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0

②ヨガ 講師：はしもとかおり氏（シヴァナンダ・ヨガ インストラクター）

<企画の目的>

保護者を対象に、運動不足の解消や気分転換を図るとともに、育児による腰痛や肩こりなどの身体的不調の解消をする。

<開催計画および実施状況>

表 V-2-1 のとおり4回計画した。保護者を対象にヨガのインストラクターによるヨガ教室を行った。子どもと一緒に参加することも可能であるが、子どもが遊具で遊ぶ場合は、保護者がヨ

【サロンの様子】



ガに集中できるよう、なるべくスタッフが子どもの見守りを行うようにした。乳児を持つ保護者が参加する場合は、乳児とともにできるヨガ内容を実施するなど、参加者の背景を事前に把握したうえで、講師に依頼した。

③リトミック 講師：浅野香織氏（リトミック講師）

＜企画の目的＞

子どもが音楽に親しみながら身体を動かす機会を作るとともに、子どもが楽しむ姿を見ることにより、保護者の日々の気分転換を図る。

＜開催計画および実施状況＞

表 V-2-1 のとおり 2 回計画し、3 歳以下の子どもと保護者を対象に音楽講師によるリトミックを開催した。事前に対象の子どもの年齢を把握したうえで、成長発達に応じた内容を講師に依頼した。また、講師が子どもの反応を確認しながら実施できるようにした。

【サロンの様子】



④健康教室（育児講座）

＜企画の目的＞

子どもの成長発達に合わせた、育児に関する知識や具体的な手段についての情報提供を行うこと、また、関心が高い内容について、特に子どもに関する内容に焦点を当て、具体的な対策等の情報提供を行い、育児をする上での不安を軽減する。

＜開催計画および実施状況＞

表 V-2-1 のとおり、愛知県立大学大学院博士前期課程の助産師コース学生 5 名が、「高度実践実習」の一環として、育児講座を 2 回実施した。育児講座では「はじめよう！トイレトレーニング」「みんなで考える子どもの安全！事故予防教室」のテーマで、参加者同士の交流を交えながら開催した。

【サロンの様子】



⑤クリスマス会

＜企画の目的＞

未就園児と保護者に対し、季節のイベントとして、クリスマスの雰囲気を感じていただく。

＜開催計画および実施状況＞

表 V-2-1 のとおり毎年恒例のクリスマス会を開催した。ソプラノ歌手（はしもとかおり

【サロンの様子】



氏)、ピアニスト(池原陽子氏)によるコンサート、学内教職員、学生によるサンタクロース、トナカイの登場、フルート演奏などを企画した。密を避けるために広くスペースを確保して行った。また、職員の手づくりのマラカスと洗濯ばさみのおもちゃをサンタクロースやトナカイにふん装した大学院生や職員が配布した。

⑥ママの運動 講師：三浦康平氏（愛知県立大学看護学部 講師）

＜企画の目的＞

保護者を対象に運動を行い、日頃の運動不足の解消や気分転換を図る。

＜開催計画および実施状況＞

表 V-2-1 のとおり 1 回計画し、3 歳以下の子どもと保護者を対象に学内講師による運動を行った。



【サロンの様子】



⑦鍼灸のお話 講師：杉浦雄氏（杉浦鍼灸院 院長）

＜企画の目的＞

保護者を対象に、肩こりや腰痛など、育児で疲れた身体をケアできる方法を教授することで、身体的不調の解消をする。また、夜尿や夜泣きなどの子どもの困りごとに対処できる手掛かりとなる。

＜開催計画および実施状況＞

表 V-2-1 のとおり 1 回計画し、3 歳以下の子どもと保護者を対象に鍼灸講師による講義や実際にツボを押すなどの体験を行った。



【サロンの様子】

表 V-2-5 令和 6 年度サロン「ベビーマッサージ」「離乳食交流会」のアンケート結果概要

回数		9	10	11	13	8
サロンの内容		ベビーマッサージ				離乳食交流会
サロンの定員		10	10	10	10	10
サロン参加者		8	7	7	12	7
参加率 %		80.0	80.0	70.0	120.0	70
サロン参加者の回答数		8	7	7	12	6
サロン参加者の回収率 %		100.0	100.0	100.0	100.0	85.7
子育てへの役	役立つ	8	5	7	12	6
	ほぼ役立つ	0	1	0	0	0
	どちらともいえない	0	1	0	0	0
	あまり役に立たない	0	0	0	0	0

	役立たない	0	0	0	0	0
満足度	満足	8	5	6	12	6
	ほぼ満足	0	2	1	0	0
	どちらともいえない	0	0	0	0	0
	やや不満	0	0	0	0	0
	不満	0	0	0	0	0

⑧ベビーマッサージ 講師：富田美智代氏（助産師）、津田佐貴子氏（愛知県立大学看護学部 助手）

<企画の目的>

母子がベビーマッサージを通して楽しく触れ合う機会を作ること、乳児の成長発達を促進するとともに、母親が乳児との接し方を学び育児に対する自信を持つこと、また母子の愛着形成の促進を目的に行った。さらに、乳児期は外出がままならないことから孤立感を抱きやすいため、専門職と繋がることで育児不安の軽減を図る。

【サロンの様子】



<開催計画および実施状況>

表 V-2-1 のとおり 4 回計画し、生後 2～6 か月（10 か月頃まで可）の乳児と母親を対象に助産師のインストラクター 2 名が各 2 回、ベビーマッサージを行った。



⑨離乳食交流会

<企画の目的>

離乳食に悩む保護者が多いことから、離乳食に関する知識の提供、母親同士の交流をはかり、離乳食に関する悩みが軽減する。

<開催計画および実施状況>

表 V-2-1 のとおり 1 回計画し、離乳食について話がしたい保護者を対象に、株式会社 江崎グリコとコラボレーションして開催した。

江崎グリコの管理栄養士より、離乳食に関するミニレクチャーの後、管理栄養士、助産師、看護師と参加者で離乳食についてのフリーディスカッションを行った。

【サロンの様子】



⑩育児相談・交流会

＜企画の目的＞

未就園児を持つ保護者の育児に対する悩みは非常に多い。保護者同士および専門職との交流を図り、育児に対する不安の軽減に努める。

＜開催計画および実施状況＞

事前申し込みの際に相談の有無を確認して対応し、自由ひろば・小サロン参加時に相談がある場合に対応した。また、ベビーマッサージの小サロン開催後に自由参加にて、参加者の交流会を実施した。

育児相談は0～14名で合計76名であった。自由ひろばでは身長・体重を測定しながら相談対応も行い、相談内容は「授乳」「離乳食」「子どもの発達」「夜の睡眠」等であった。

ベビーマッサージ後の交流会は、ベビーマッサージの講師、助産師資格のある委員がファシリテーターとして2グループに分かれて実施し、離乳食、児の成長・発達、頭の向き、夜の睡眠、うつ伏せなどの相談に対応し、参加者同士でも情報交換していた。

【サロンの様子】



⑪ふれあい遊び（子育てひろば中に開催）

＜企画の目的＞

子どもの成長発達の促進には、保護者の関りが非常に重要である。現代は子どもとの接し方、特に遊び方がわからない保護者は多く、それらを学習する機会が少ないことから、子どもとのふれあい方を知る機会となるとともに、子どもの成長発達を促進する。

＜開催計画および実施状況＞

サロン・小サロンにおいて、はじめと終わりに、保育士によるふれあい遊びを取り入れた。

Xmas 会では、保育士を中心に、Xmas に関する制作コーナーを設け、親子で制作を行った。

【ふれあい遊びの様子】



(9)子育てひろば「もりっこやまっこ」参加者の声（1～2月参加者への調査結果）

表 V-2-6 令和6年度 子育てひろば「もりっこやまっこ」アンケート結果（回答者数 70）

質問項目	選択肢	回答率
1)はじめて参加したのはいつですか？	今年度から	44%
	前年度から	20%
	前々年度以前から	34%
	わからない	1%
2)本年度は何回参加されましたか？	ほぼ毎回（15回以上）	6%
	1か月に2回程度（11～13回程度）	4%
	1か月に1回程度（9～10回程度）	13%
	2か月に1回程度（5～8回）	17%
	3か月に1回程度（3～4回）	20%
	半年に1回程度（2回）	16%
	1回のみ	23%
	わからない	1%
3)「もりっこやまっこ」以外に参加している子育てひろばやサークルはありますか？	ここだけ	16%
	ここだけ以外に1か所	21%
	ここだけ以外に2か所	29%
	ここだけ以外に3か所以上	34%
4)参加したお子さんは何歳ですか？（複数回答）	1歳未満	24%
	1歳1か月～2歳未満	46%
	2歳1か月～3歳未満	34%
	3歳1か月～4歳未満	9%
5)「もりっこやまっこ」をどこで知りましたか？（複数回答）	友達紹介	43%
	保健所の紹介	29%
	守山区子育てマップ	33%
	インターネットのブログ	0%
	「もりっこやまっこ」チラシ	10%
	「もりっこやまっこ」メール	3%
6)「もりっこやまっこ」に参加した理由を教えてください。（複数回答）	その他：卒業生、大人のためのサロン、近所	4%
	子どもと外出するきっかけ	70%
	自分の子どもとのふれあい	51%
	同じ年齢の子どもとの出会い・ふれあい	43%
	広い遊び場所	66%
	屋内の遊び場所	50%
	安全な遊び場所	43%
	「もりっこやまっこ」サロンへの関心	19%
	育児不安や心配事の共有	6%
	育児友達との出会い・情報交換	11%
	保育士・看護師・助産師への相談	3%
	その他：天候に左右されず体を動かせる	4%
7)「もりっこやまっこ」全体に対する満足の度合いを教えてください。	満足	64%
	ほぼ満足	20%
	どちらともいえない	0%
	やや不満	0%
	不満	0%
8)「もりっこやまっこ」は、あなたの子育てにどの程度役立ちそうですか？	無回答	16%
	役立つ	57%
	ほぼ役立つ	23%
	どちらともいえない	3%
	あまり役に立たない	1%
	役立たない	0%
【「もりっこやまっこ」に関する感想（抜粋）】		16%
・ 広くておもちゃがたくさんあり楽しめる。		
・ 子どもが安全に遊べる場がとてありがたい。		
・ 講座中でも子どもを見てもらえるので助かる。		
・ 体重、身長が測れて、相談にのってもらえてうれしい。		
・ ホットカーベットスペースがありがたい。		
・ ここでしか会えないママ友ができて、コミュニケーションの機会になっている。		
・ 子どもと向き合っている場はありがたい。		

①アンケート結果のまとめ

【参加者の概要】

- 今年度初めて参加した人が 31 名 (44%) である。前年度からの利用者は 14 名 (20%)、前々年度以前からの利用者は 24 名 (34%) である。
- 参加頻度については 3 か月に 1 回程度 (3~4 回) が 14 名 (20%) で最も多い。
- 居住地域は守山区志段味地区が 48 名 (69%) で最も多く、春日井市、守山区 (志段味地区以外)、瀬戸市など、本学周辺地域からの参加が多い。
- 子育てひろばやサークル利用は、「もりっこやまっこ」のみの利用者は 11 名 (16%) で、59 名 (84%) は当該施設以外に 1~3 か所を利用している。
- 参加した子どもの年齢は 1・2 歳が 56 名 (80%) で、1 歳未満は 17 名 (24%) である (複数回答)。
- 「もりっこやまっこ」を知ったきっかけは、友達の紹介が 30 名 (43%) で最も多く、保健所の紹介 20 名 (29%)、守山区子育てマップで知った方が 23 名 (33%) である。
- 「もりっこやまっこ」への参加理由は、「子どもと外出するきっかけ」49 名 (70%) が最も多く、続いて「広い遊び場所」46 名 (66%)、「自分の子どもとのふれあい」36 名 (51%)、「屋内の遊び場所」35 名 (50%)、「安全な遊び場所」30 名 (43%)、「同じ年齢の子どもとの出会い・ふれあい」30 名 (43%)、「サロンへの関心」13 名 (19%)、「育児友達との出会い・情報交換」8 名 (11%)、「育児不安や心配事の共有」4 名 (6%)、「保育士・看護師・助産師への相談」2 名 (3%)、その他 3 名 (4%) の順である。(複数回答)

【子育てひろば「もりっこやまっこ」に対する参加者の評価】

- 「もりっこやまっこ」全体の満足度については、「満足」45 名 (64%)、「ほぼ満足」14 名 (20%) で、合わせて 84% である。それ以外の方 11 名 (16%) は無回答である。
- 「もりっこやまっこ」の子育ての役立ち度については、「役立つ」40 名 (57%)、「ほぼ役立つ」16 名 (23%) で合わせて 80% である。「どちらともいえない」2 名 (3%)、「あまり役に立たない」1 名 (1%) であり、理由については記載がなかった。
- 体育館開催について気になることは「ない」52 名 (74%)、「ある」5 名 (7%) であり、その理由としては、「夏の開催がなく残念」、「空調」(がない)、「寒い」、「お知らせをもう少し出してほしい」の記載があった。

【子育てひろば「もりっこやまっこ」に対する参加者の要望】

- 木曜日は他のひろばのイベントと重なりやすいので他の曜日も検討して欲しい。
- 月曜日は公共の児童館が休みなので月曜日に行ける場所が欲しい。
- 月 1 回から開催回数を増やしてほしい。
- アンケートは子どもを見ながら書くのが大変であり、スマホ等での回答方式にして欲しい。

(10)全体評価

- 利用者の満足度は84%と高く、子育てへの役立ち度も80%と高い結果である。
- 17回／年の自由ひろばに加えて、16回の各種サロンの開催企画も影響したのか、「もりっこやまっこ」が利用者同士の交流機会となり、満足度や子育てへの役立ち度の高さにつながったのではないかと考える。
- 大学周辺地域の子育て支援に貢献できていると考える。
- 体育館の一区画にホットカーペットを導入し、冬の寒い季節でも子育てひろばを楽しめたと考える。
- 全体に関して「空調」（がない）や「寒い」という意見もあり、体育館の環境の整備は必要である。

2) その他、地域との連携・支援に関する活動

(1) 守山区地域子育て支援ネットワーク事業への協力

守山区の「地域子育て支援ネットワーク事業守山チーム会議」は、年6回対面で開催され子育て関係機関との連携を図った。

(2) 守山区上志段味自治会活動への協力

上志段味自治会長及び区政協力委員長から学区のイベントに地域連携として参加依頼があり、上志段味学区連絡協議会（2か月に1回開催）に参加した。また、フレイル予防イベント、防災訓練に参加した。

①フレイル予防イベント かみしだみ 健康ひろば

日時：2024年10月18日（金）10：00～11：30

会場：上志段味公民館ホール

内容：看護学研究科博士前期課程地域・国際看護学研究分野高度実践（保健師）コースの学生4名が「食べる幸せいつまでも一飲み込む力を体操で高めよう！」「認知症は予防できる！一楽しく延期に予防しよう」について「保健指導技術演習」の一環として健康教育を実施した（教員4名、職員1名も参加）。

【健康ひろばの様子】



②上志段味学区防災訓練

日時：2024年11月16日（日）10：00～12：00

会場：上志段味小学校 グラウンド・体育館

内容：看護学部の教職員 13 名が参加し、「毛布を用いた移送や三角巾を用いた応急処置」「母子・女性関係の災害準備、持ち出し品」「高齢者の持ち出し品・医療情報カード」の展示や説明・体験を行った。

【当日の様子】



(3) 上志段味小学校 5 年生を対象とした授業への協力

日時：2025 年 2 月 27 日（木）10：35～12：15、

28 日（金）10：35～12：15

会場：上志段味小学校

内容：ウィメンズヘルス・助産学分野の教員 3 名と看護学研究科博士前期課程高度実践（助産師）コースの学生 11 名が、小学 5 年生の理科の授業において「生命のつながり 人のたんじょう」の授業を担当した。妊娠から出産、育児についての内容を、4 クラス、クラスごとに体験や演習を中心とした授業を行い、博士前期課程の学生は「ウィメンズヘルス教育論」の授業の一環として参加した。

【授業の様子】



6. 教員等による地域貢献

《審議会等の委員》（公表されているものから一部抜粋）

○愛知県 愛知県医療審議会、愛知県学校法人等助成審議会、愛知県教員の資質向上に関する協議会、愛知県公益認定等審議会、愛知県後期高齢者医療制度に関する懇談会、愛知県国民健康保険運営協議会、愛知県国民保護協議会、愛知県子ども・子育て会議、愛知県困難な問題を抱える女性支援及びDV防止ネットワーク会議、愛知県在宅医療推進協議会、愛知県社会福祉審議会、愛知県私立学校審議会、愛知県男女共同参画審議会、愛知県都市計画審議会、愛知県図書館専門委員会、愛知県犯罪被害者等支援懇話会、愛知県文化財保護審議会、愛知県防災対策有識者懇談会、愛知県母子保健運営協議会、リニモ沿線地域づくり会議

○岩倉市 岩倉市いじめ問題専門委員会、岩倉市子ども・子育て会議

○岡崎市 岡崎市情報公開・個人情報保護審査会

○尾張旭市 尾張旭市健康都市に関する懇談会、尾張旭市地域福祉計画推進委員会

○瀬戸市 瀬戸市子ども・子育て会議、瀬戸市障害者地域自立支援委員会

○東郷町 東郷町地域福祉グランドデザイン策定委員会

○長久手市 長久手市行政改革推進委員会、長久手市国民健康保険運営協議会、長久手市障がい者自立支援協議会、長久手市男女共同参画審議会、長久手市地域福祉計画等策定推進委員会、長久手市地域包括ケア推進協議会、長久手市地域保健対策推進協議会母子専門部会、長久手市都市計画審議会、長久手市文化財保護審議会、長久手市平成こども塾運営委員会、長久手市放課後子ども教室運営委員会、長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

○西尾市 西尾市地域福祉計画推進委員会

○日進市 日進市介護認定審査会、日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会

《地方自治体からの受託事業》

○瀬戸市 「瀬戸市学習・生活支援事業」
「瀬戸市発達障害支援事業（心理職）」

○名古屋市 「早期子ども発達支援担当職員研修（基礎研修）」
「早期子ども発達支援担当職員研修（中級研修）」
「早期子ども発達支援担当職員研修（上級研修）」
「早期子ども発達支援担当職員研修動画配信サイトへの追加動画制作」

《カルチャーセンター講師》（提携講座開講に関する覚書に基づく）

○朝日カルチャーセンター

愛知県立大学では、大学での教育研究の成果を県民や社会に対して還元するとともに、高度な要望や知的欲求など県民の多様なニーズに対応するため、朝日カルチャーセンターと提携講座を開催している。

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

兼好法師のつれづれなる生活

藤原定家歌語り

今野 元（外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 教授）

「ドイツ・ナショナリズム」とその後

《地域連携コーディネート及び連携事業》

- ・愛知県環境局環境政策部自然環境課（東部丘陵生態系ネットワーク協議会への参加）
- ・愛知県教育委員会（高大連携事業・連携協定）
- ・愛知県経済産業局産業部産業振興課（補助金や事業の周知協力）
- ・愛知県生涯学習推進センター（公開講座情報の提供、フォローアップ交流会への協力）
- ・愛知県スポーツ局スポーツ振興課（あいちスポーツコミッションへの参画）
- ・愛知県総務局総務部市町村課地域振興室（連携事業の実施）
- ・愛知県陶磁美術館（パートナーシップ事業）
- ・愛知県都市整備局交通対策課（相互の事業の周知協力）
- ・愛知県福祉局高齢福祉課（認知症パートナー大学、シルバーカレッジへの協力）
- ・公益財団法人 あいち産業振興機構（連携協定、あいち新事業活動促進連携会議への参加）
- ・公益財団法人 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（ボランティア募集協力）
- ・徳川美術館（大学メンバーシップへの参加）
- ・長久手市（大学連携調整会議への参加、相互の事業の周知協力等）
- ・名古屋市教育委員会（大学連携懇談会への参加）

（自治体及び組織名は五十音順）

7. 資料

愛知県立大学地域連携センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知県立大学学則第6条の規定に基づき設置される地域連携センター（以下「センター」という。）の運営に関する基本的事項について、定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、愛知県立大学の有する教育研究資源等を活用し、愛知県を始め行政機関、大学等研究機関、産業界、地域社会等学外との多様な連携による地域連携活動や生涯学習事業を通じて、地域の課題解決や発展に貢献することを目的とする。

(組織)

第3条 次条に規定する業務のうち、主に守山キャンパスにおける地域連携活動や生涯学習事業に関する業務を行うため、センターに地域連携センター守山支部（以下「センター守山支部」という。）を置く。

(業務)

第4条 センターは、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

(1) 地域連携活動及び生涯学習事業に係る以下の業務に関すること

- ア 企画・運営・実施・支援業務
- イ 情報収集・発信業務
- ウ 学内組織及び関係機関との連携及び調整業務

(2) 学術文化交流センターの管理・運営に関すること

(3) その他センター長が適当と認めた業務

(センター長)

第5条 センターに、センター長を置く。

2 センター長は、学長の命を受け、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、最初の就任の日から引き続き6年を超えて在任することはできない。

また、任期の途中でセンター長が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 センター長に事故がある場合は、副センター長がセンター長の職務を代理する。

(副センター長)

第6条 センターに副センター長を置く。

2 副センター長は、センター長の命を受け、センターの業務を補佐する。

3 副センター長の任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、最初の就任の日から引き続き6年を超えて在任することはできない。

また、任期の途中で副センター長の交替が生じた場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(地域連携センター守山支部長)

第7条 センター守山支部に地域連携センター守山支部長（以下「支部長」という。）を置く。

- 2 支部長は、センターの業務のうち、守山キャンパスの業務を掌理する。
- 3 支部長は、センター長と協議の上、学長が指名する。
- 4 支部長は、センター長又は副センター長が兼ねる。
- 5 支部長の任期は、センター長又は副センター長の職にある期間とする。

（センター長補佐）

第8条 センターに、センター長補佐を置くことができる。

- 2 学長は、センターの運営に必要と判断した場合、センター長と協議の上、センター長補佐を指名することができる。
- 3 センター長補佐は、センター長の命を受け、センター長の職務を補佐する。
- 4 センター長補佐の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、最初の就任の日から引き続き6年を超えて在任することはできない。

また、任期の途中でセンター長補佐が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（センター運営会議）

第9条 センターの業務を円滑に運営するため、センター運営会議を置く。

- 2 センター運営会議は次の者をもって組織し、議長はセンター長をもって充てる。
 - （1）センター長
 - （2）副センター長
 - （3）センター長補佐
 - （4）学術情報部長
 - （5）その他センター長が必要と認めた者
- 3 運営会議はセンター長が召集する。
- 4 議長が必要と認める場合は、センター運営会議に研究推進局長を出席させ、その意見を述べさせることができる。

（庶務）

第10条 センターの庶務は、研究支援・地域連携課で行う。ただし、センター守山支部にかかる庶務は、守山キャンパス学務課が行う。

（補則）

第11条 この規程に定めるセンターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附則

（施行期日）

この規程は、令和元年 11 月 26 日から施行する。

（任期に関する経過措置）

- 1 この規程の施行の際現にセンター長及びセンター長補佐の職にある者の任期については、改正前の規定を適用する。
- 2 この規程の施行の日から令和 3 年 3 月 31 日までの間にセンター長補佐の職に就いた者の任期については、改正後の規定にかかわらず、令和 3 年 3 月 31 日までとする。

附則

（施行期日）

- 1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

（要綱の廃止）

- 2 愛知県立大学産学連携推進室要綱は、廃止する。

附則

（施行期日）

- 1 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

（規程の廃止）

- 2 愛知県立大学看護実践センター規程は、令和 5 年 3 月 31 日をもって廃止する。

（任期に関する経過措置）

- 3 最初の副センター長の職に就いた者の任期については、第 6 条第 3 項の規定にかかわらず、令和 6 年 3 月 31 日までとする。

附則

この規程は、令和 6 年 12 月 24 日から施行する。

○地域連携センター ウェブサイト

ウェブサイトアドレス <https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>



地域連携センターの概要や活動報告、これから開催する講演会、講座等の情報を PC 版及びスマートフォン版で提供しており、申込が必要な講座については、申込手続を円滑に行っていただけるよう、講座申込フォームも開設しています。

当センター年報のアーカイブや教員・研究概要を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

○ Web 版年報

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/annualreport/index.html>



○ 教員・研究概要検索サイト

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/staff/index.html>



令和 7(2025)年 5 月発行

編集・発行 愛知県立大学地域連携センター

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

電話:0561-76-8843

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>